

令和6年第3回（9月）定例会
一般会計予算決算常任委員会資料
（令和5年度一般会計決算審査資料）

令和5年度 一般会計（総務文教分科会）決算審査対象事業

No.	重点	事業名	決算額 (千円)	款	項	目	決算書 ページ	担当課	資料 ページ
1	デ・理 ス	山口東京理科大学との協創・データ活用による スマートシティ推進事業	29,687	2	1	9	152 ~ 155	デジタル推進課	1 ~ 6
2	①	協創によるまちづくり提案事業	5,011	2	1	9	152 ~ 155	シティセールス課	7 ~ 11
3	①	地域おこし協力隊募集・活用事業	886	2	1	10	154 ~ 159	シティセールス課	12 ~ 14
4	③	ゴルフ場PR事業	998	7	1	4	294 ~ 297	シティセールス課	15 ~ 16
5	①・ス	地域運営組織推進事業	4,089	2	1	22	168 ~ 169	市民活動推進課	17 ~ 19
6	①	集落支援員設置事業	9,088	2	1	22	168 ~ 169	市民活動推進課	20 ~ 21
7	③	サッカー交流公園運営業務	66,606	2	1	29	182 ~ 183	文化スポーツ推進課	22 ~ 25
8	デ	小学校社会科副読本デジタル化事業	9,160	10	2	2	334 ~ 337	学校教育課	26 ~ 27

令和5年度 一般会計（民生福祉分科会）決算審査対象事業

No.	重点	事業名	決算額 (千円)	款	項	目	決算書 ページ	担当課	資料 ページ
9	②	入学祝金給付事業	49,210	3	2	1	220 ~ 225	子育て支援課	28 ~ 28
10		認定こども園整備助成事業	192,694	3	2	1	220 ~ 225	子育て支援課	29 ~ 33
11	②	地域子ども健全育成事業	1,430	3	2	1	220 ~ 225	子育て支援課	34 ~ 37
12	②	子ども医療費助成拡充事業	114,379	3	2	2	224 ~ 227	子育て支援課	38 ~ 38
13	②	小野田地区公立保育所整備事業	21,608	3	2	4	228 ~ 233	子育て支援課	39 ~ 43
14	②・ス	葉酸サプリメント配布事業	239	4	1	1	242 ~ 249	健康増進課	44 ~ 44
15		飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業	1,271	4	1	3	248 ~ 251	環境課	45 ~ 47

令和5年度 一般会計（産業建設分科会）決算審査対象事業

No.	重点	事業名	決算額 (千円)	款	項	目	決算書 ページ	担当課	資料 ページ
16		浄化槽整備推進事業	69,682	4	1	3	248 ~ 251	下水道課	48 ~ 49
17		有害鳥獣対策協議会支援事業	385	6	2	2	280 ~ 281	農林水産課	50 ~ 51
18		市道くし山線道路改良事業	1,400	8	2	4	302 ~ 305	土木課	52 ~ 53
19	①	河川整備事業	0	8	3	1	306 ~ 307	土木課	54 ~ 55
20		厚狭駅前駐輪場整備事業	3,675	8	5	1	308 ~ 313	都市計画課	56 ~ 57
21	ス	テニスコート改修事業	27,919	8	5	2	312 ~ 317	都市計画課	58 ~ 59
22		市営住宅建替整備事業	63,726	8	6	2	322 ~ 323	建築住宅課	60 ~ 65

R5年度 事務事業評価シート

1 課・局・室・所(係) デジタル推進課 デジタル政策係 事務事業番号 232050508

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	6	行財政運営・市民参画・市政情報の発信		32	効率的で効果的な行政運営		5	デジタルを活用した行政サービスの向上及び行政運営の効率化		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	5	スマートシティ推進事業	8	山口東京理科大学との協創・データ活用によるスマートシティ推進事業				デジタル化 理科大	知守 食事 運動 交流	政策的
事業概要	令和4年度のDX協創プラットフォームにおいて、スマートウォッチや健康データを活用した健康づくりの提案があった。提案を基に、関係課の保健事業と連携し、実証を行いながら、令和5年度から3年間で、健康データを活用した健康づくり事業を立ち上げる。また、令和5年度に、山口東京理科大学に数理情報科学科が新設されることから、大学との連携を深め、市民から提供されたデータを大学において分析し、市全体の施策に活用することでより効果的な施策とし、市民生活の質向上を図る。なお、健康以外の分野のデータの活用に応じていくことも想定しながら取り組む。中期基本計画における3つの横断的施策にも合致する事業となる。					対象	市民・山口東京理科大学			
						手段	データの収集・分析・市民向けサービスの充実、大学とのデータ連携・分析、データ連携基盤の段階的構築			
						意図	健康寿命の延伸・市民生活の質向上			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					システム開発委託料	17,160千円	システム開発委託料	18,700千円
					システム運用支援業務委託料	10,574千円	システム運用支援業務委託料	8,871千円
					システム利用料	536千円	アドバイザー業務委託料	7,920千円
					機械器具費等	1,117千円	機械器具費	2,933千円
					報償金	300千円	業務委託料	2,400千円
							システム利用料	1,110千円
							その他	1,072千円
	合 計					29,687千円		43,006千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	14,844千円	1/2	21,503千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					14,843千円		21,503千円
	合 計					29,687千円		43,006千円
人工数 人件費					0.60人	3,495千円		
総経費						33,182千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	理科大と連携したデータ分析	活動			検討	一部実施
					検討	
					100.00%	
2	スマートウォッチ等のデジタル機器を活用する中で、健康状態が改善した人数	活動			24	80
					19	
					79.20%	
3	理科大と連携したデータ連携基盤構築	成果			一部構築	一部構築
					一部構築	
					100.00%	

成果	データ連携基盤を一部構築するとともに、健康増進課と連携し、糖尿病予防教室の参加者にスマートウォッチを貸与し、生活習慣の改善に取り組んだ。また、DX協創プラットフォーム事業を通じ、数理情報科学科の教授や学生と協議する場を設け、データ分析のあり方等について相談する体制を構築した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	利用者の拡大に向け、スマイルエイジング薬局やNPOと連携して、健康相談が可能な場所を増やし、気軽に健康指導が受けられるようにする。また、データ連携基盤の構築やデータの分析について、山口東京理科大学との協議を進めていく。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

理科大との協創・データ活用によるスマートシティ推進

目指す 将来像

誰もが笑顔で年を重ねていく「スマイルエイジング」（健康寿命の延伸）

事業経緯

令和4年度のDX協創プラットフォームにおいて提案された、スマートウォッチや健康データを活用した健康づくりについて、3年間で実証を行いながら事業化する。

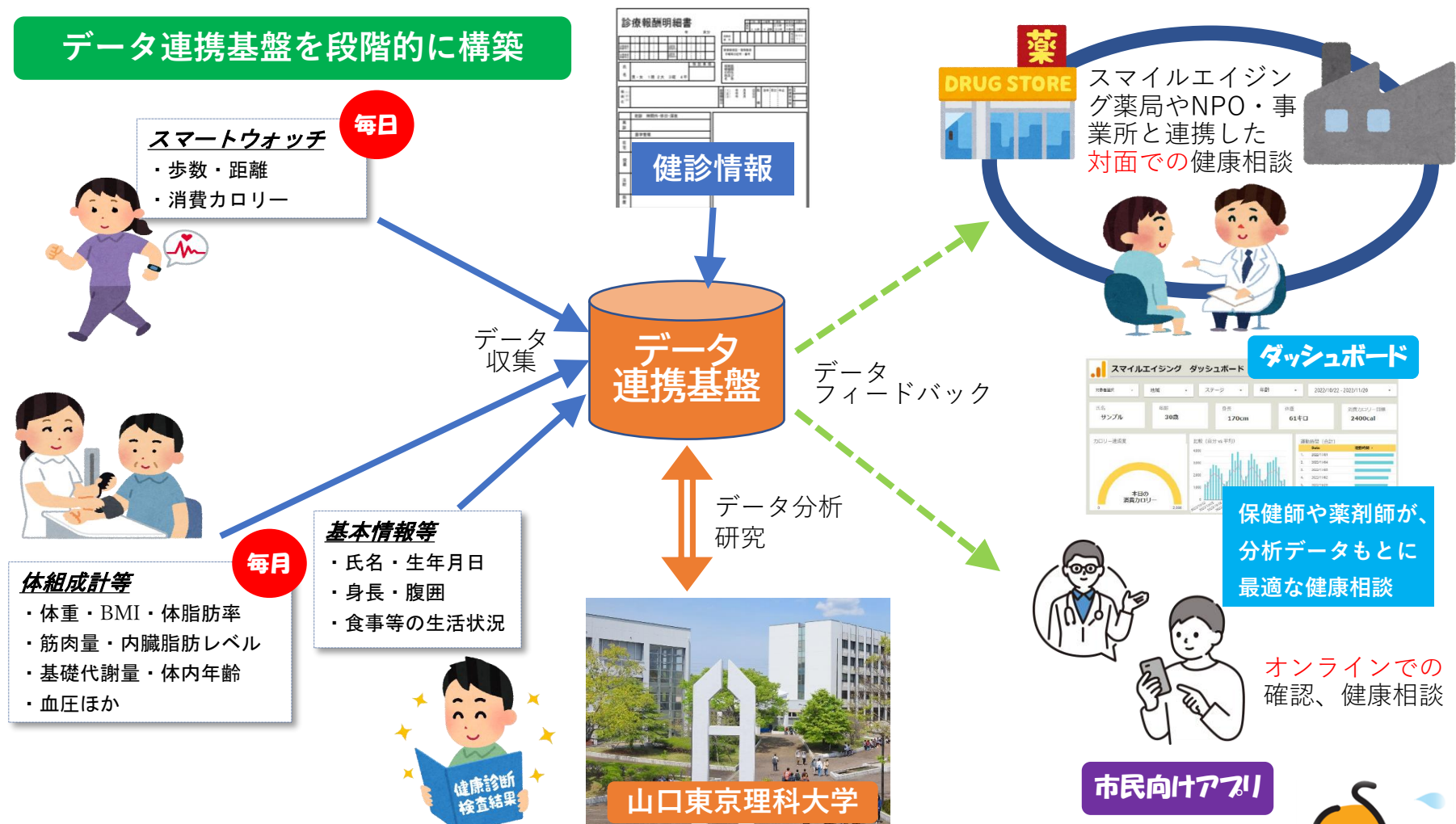
事業概要

スマートウォッチを活用し、市民の日々の健康データや生活習慣を記録する。それらのデータを収集、蓄積、分析した上で、健康状態を可視化し、公的な医療・健康情報と組み合わせたPHR（個人健康情報記録）を健康相談・指導に活用することで、健康に対する意識向上、生活習慣の改善等の行動変容を促す。また、山口東京理科大学と連携し、データの分析・分析データの活用に取り組むことで、市の施策の評価や見直しを図る。

	事業詳細	1年目 (R5年度)	2年目 (R6年度)	3年目 (R7年度)
①	スマートウォッチ等から健康データを収集・蓄積し、その分析データを基に健康相談を行う	実証 実装		サービス拡充
②	健康データを山口東京理科大学と連携して分析する	体制構築	データ分析準備	データ分析
③	データ連携基盤を段階的に構築する	構築	①・②を見据え機能強化	

実証を行いながら3年間で事業を実装する

理科大との協創・データ活用によるスマートシティ推進



実証を行いながら3年間で事業を実装する

理科大との協創・データ活用によるスマートシティ推進

	事業詳細	1 年目 (R 5 年度)	2 年目 (R 6 年度)	3 年目 (R 7 年度)
①	スマートウォッチ等から健康データを収集・蓄積し、その分析データを基に健康相談を行う	実証 糖尿病予防教室での実証 ・教室参加者にスマートウォッチを貸与、歩数や消費カロリー等の健康データを収集、また、月に1回体重等のデータを収集 ・分析したデータを基に健康相談・指導	実装 利用者の拡大 (R6:100台・R7:150台) ・スマイルエイジング薬局との連携 ・NPOとの連携 ・国保事業（特定保健指導等）との連携	
②	健康データを山口東京理科大学と連携して分析する	体制構築 ・DX協創プラットフォームを通じて、分析のあり方を大学と協議	データ分析準備 ・数理情報科学科との協議の継続	データ分析
③	データ連携基盤を段階的に構築する	一部構築 ・スマートウォッチのデータ収集基盤構築 ・保健指導用ダッシュボード構築	①・②を見据え機能強化 ・ダッシュボードの市民利用可（市民アプリ化） ・保健指導用ダッシュボードの充実 ・データの拡充 ・LINE等を活用した、オンライン情報提供や相談機能	

理科大との協創・データ活用によるスマートシティ推進

令和5年度の実践の評価

●定量的評価

- ・参加者21人のうち、19人については、健康状況（生活習慣）が改善した、または、良好な状況を維持できた。
- ・12人がスマートウォッチ着用に継続して取り組む。

●定性的評価

	これまでの課題	メリット（改善されたこと）
保健指導	・一般的な指導になりがちで、対象者に合わせた指導が難しい。	・歩数や消費カロリーを把握、定量的目標設定をした上で、データを基にした個別指導ができる。 ・ハイリスク（保健指導が必要な人）の抽出が容易になる。 ・個人の消費カロリーに合わせた食事指導ができる。
行動変容	・十分に組み込んでいる人が一定数いる。 ・教室後の習慣化が難しい。	・歩数や消費カロリーが数値化されるので、日々確認しながら取り組むことができる。 ・スマートウォッチを継続的に使用することで、教室終了後も継続したデータ確認、支援ができる。

●課題

- ・参加者を増やすことができるよう、生活習慣の改善に順調に取り組んでいる市民と個別フォローが必要な人、それぞれに応じたフォローが必要。
- ・無関心層が参加する取組が必要。

理科大との協創・データ活用によるスマートシティ推進

令和6年度の実施

スマートウォッチ貸与、専門職による定期的な状況等の確認・フォロー・健康相談
→健康に対する意識向上、生活習慣の改善等の行動変容を促す

	リスク	対象	連携	時期
①	低	R6生活習慣病予防教室参加者		9月～2月
②	低	R5糖尿病予防教室参加者（継続）	スマイルエイジング薬局	10月～3月
③	低	スマートウォッチを活用した健康管理 に関心がある市民・企業 （広報等で募集）	スマイルエイジング薬局 NPO	10月～3月
④	中	国保の特定健診で注意がいる人		
⑤	高	国保の特定保健指導対象者	NPO	9月～3月
⑥	高	国保の糖尿病性腎症重症化予防対象者	市民病院	9月～3月

R5年度 事務事業評価シート

2

課・局・室・所(係)

シティセールス課

ふるさと納税促進係

事務事業番号

233010903

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	6	行財政運営・市民参画・市政情報の発信		33	健全な財政運営		1	自主財源の確保		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	9	サポート寄附金促進事業		3	協創によるまちづくり提案事業		1ー(1)			政策的
事業概要	協創の考え方を共有した市民活動団体等から、地域課題解決などに資する公益的事業について提案を受け、優れた提案に対し、その実施経費をふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより支援する。団体等と適切で良好なパートナーシップを築き、地域課題や社会課題の解決に向けた新たな取組を実施することで、協創によるまちづくりを推進していく。また、政策提案機会の拡大を通じて、シビックプライドの醸成を図りつつ、市民活動団体等の活動の活性化を支援し、まちづくりの担い手の育成を図る。 また、事業の決定方法については、市職員で構成する審査会において提案された事業を審査し、支援する事業を決定する。						対象	地域課題解決などに資する公益的事業を行う市民活動団体等		
							手段	ふるさと納税制度を利用したクラウドファンディングにより集まった寄付金を補助する。		
							意図	市民活動団体等の活動の活性化及びシビックプライドの醸成を図る。		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					協創事業提案補助金	5,000千円	協創事業提案補助金	15,000千円
					消耗品費	11千円		
合 計						5,011千円		15,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと寄附金	5,000千円	ふるさと寄附金	15,000千円
	一般財源					11千円		
	合 計					5,011千円		15,000千円
人工数 人件費					0.45人	2,621千円		
総経費						7,632千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	寄附金活用事業数	活動			5 2 40.00%	5
2	団体が自立して事業を実施した率	成果				100%
3						

成果	令和5年度は2件の事業提案があり、寄附金の活用事業数としては目標を下回ったものの、両事業ともにガバメントクラウドファンディングにより、寄附を募り、目標の寄附額を集めることができた。 集めた寄附金を提案事業の実施経費への補助金として交付し、両事業ともに成功を収めた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和5年度については、年度途中で開始した事業であったため、スケジュールが非常にタイトとなった。 令和7年度に向けて、スケジュールの再考、またより多くの団体が活用しやすい制度の改善を行っていく。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項						

山陽小野田市協創によるまちづくり提案事業(概要)

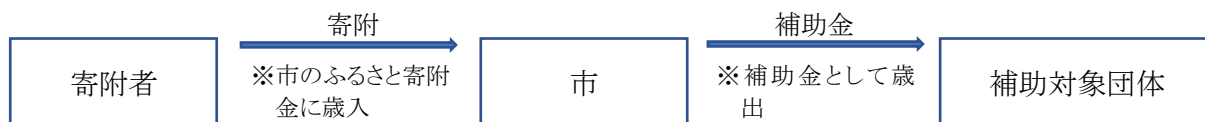
【山陽小野田市協創によるまちづくり提案事業とは】

協創の考え方を共有した市民活動団体等から、地域課題解決に資する公益的な事業の実施提案を受け、市がふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングの機会を提供し、集まった寄附を補助金として支援する制度。

【補助のしくみ】

市は、補助対象団体等に「ふるさと納税を活用したクラウドファンディング」の機会を提供する。サイト掲載手数料・決済手数料を市が負担するため、補助対象団体等は手数料の負担なしで、集まった寄附を補助金として受け取ることが可能。

【寄附金の流れ】



【補助額】

- 申請可能額は下限を100万円、上限を500万円とする。
- 事業費を上限にクラウドファンディングにて寄附された全額を補助額とする。
- 完了報告時の事業費(決算額)が寄附額を下回った場合は、余剰分はふるさと支援基金に積む。なお、本件については、寄附時に寄附者にも分かるよう表記をする。
- 寄附額が事業費に満たない場合も、集まった寄附を補助金とし交付する。なお、その際は、規模を縮小する等で事業は必ず実施して貰う。

【対象となる事業要件】

- 本市の総合計画の方向性に沿い、市が進める「協創によるまちづくり」の趣旨に沿った公益的な事業であること
- 予算の見積もりが適正であること
- 市と協創で取り組むことで、地域課題又は社会的課題の解決が図られること
- 市民目線からのまちづくりのアイデアや工夫があり、持続性のある提案であること

【対象となる団体要件】

- 3人以上の構成員で組織していること
- 事業を確実に実施するに足る人員、体制及び資金を備えていること
- 補助対象団体の運営に関する定款、規約又は会則を定めていること
- 補助対象団体の予算、決算について適正な会計処理が行われていること

【令和5年度採択事業】

◎ 採択事業①

事業名 心を動かす音楽を未来を担う若い世代に

実施団体 山陽小野田市文化協会

目標金額 400万円 ※目標達成

実施内容 北九州グランフィルハーモニー管弦楽団演奏会

実施日 令和6年2月10日(土)

寄附募集 令和5年9月15日(金)～

◎ 採択事業②

事業名 育み続けてきた 竹とガラスと人と 未来に向かってさらに音楽で心のパワーチャージ♪『生きる in 山陽小野田』

実施団体 全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部

目標金額 100万円 ※目標達成

実施内容 子どもから大人まで楽しめる参加型コンサート

実施日 令和5年11月23日(木)

寄附募集 令和5年9月28日(木)～



心を動かす音楽を未来を担う若い世代に！

山陽小野田市 ガバメントクラウドファンディング挑戦中



目標金額

4,000,000円

受付期間

2023年12月14日(木)まで

普段なかなか音楽に触れる機会のない方にも一流の音楽を届けたい

山陽小野田市は、山口県の南西部に位置し、里山、河川、干拓地に広がる田園地帯、海などの豊かな自然に恵まれ、気候が温暖で他の地域に比べると台風などの災害も少なく住みやすいまちです。しかし残念ながら、一流の芸術に触れる機会が少ないのが現状です。

芸術との触れ合いは人間形成に大きく影響するといわれています。人は芸術に触れた時、特に音楽の場合は多くの人が拍手を送ります。その拍手には2種類あるとおり、一つは、知り合いや仲間の検討を讃える激励の拍手。もう一つは、心を突き動かされた感動の拍手です。感動の拍手は感受性を育て、自己成長に大きく関わります。

こんな小さなまちにも、市民が誇りに思っている市立の大学があります。せっかくこのような田舎町に勉強に来て、4年もしくは6年の間、芸術とは無縁の孤立された社会で人生の最も多感な時期を送ることになってしまいます。

縁あってこのまちに勉強に来た若者にも心豊かな経験をして巣立って欲しい。そんな思いから山陽小野田市文化協会は、ワンコインコンサートを企画しました。

小、中、高、大学生。学生であれば市内外を問わずワンコイン（¥500）で一流のプロの音楽に触れることのできる機会を創り、半径60キロ、最も近くにあるプロのオーケストラ、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団の演奏をお届けいたします。

ご寄附の使い道

ご支援頂いた寄附金は「北九州グランフィルハーモニー管弦楽団演奏会」に活用させていただきます。

令和6年2月10日（土）
山陽小野田市不二輸送機ホール

チャイコフスキーピアノコンチェルト1番
ドボルザーク交響曲9番「新世界より」



マリオ・コシック
Mário KOŠÍK 指揮



岡田 将 ピアノ



原 雅道
ヴァイオリン

担当者メッセージ

山陽小野田市文化協会 会長 西村 公一



山陽小野田市文化協会は、会員等の連携を通じて市民の文化芸術活動の活性化を図り、山陽小野田市の文化の振興と活力ある地域づくりに寄与することを目的としています。

地域の皆さんはもとより、未来の宝である若者に一流の音楽に触れてもらいたいという思いで北九州グランフィルハーモニー管弦楽団演奏会を企画しました。

皆さんひとりひとりの、ガバメントクラウドファンディングへのご寄附が文化・芸術の継続と成長に繋がります。私たちとともに音楽の力で人とまちを活性化していくために、ご賛同のうえご寄附いただけますようお願い申し上げます。

お申込みはインターネットが便利！（ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディングへ）

URL

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2548>





音楽で心のパワーチャージ『生きる in 山陽小野田』

山陽小野田市 ガバメントクラウドファンディング挑戦中



目標金額

1,000,000円

受付期間

2023年11月30日(木)まで

自然と地域の文化資源を生かした音の街づくり。

地域文化活動に携わる芸術家と市民の手によって作られた楽器・楽団を大切に育み未来に繋げたい。

『コンサート生きる』は、地元、山陽小野田市で生まれ、地域に根付いた音楽活動を発信し、世代間を越えて市民・来場者に、子どもたちの頑張っている姿を提供することで地域の元気度アップを目的としています。

山陽小野田の自然『竹』を活用して、尺八奏者・竹楽器演奏家の柴田旺山先生のご指導のもと、地域の方々「高泊竹楽器をつくる会」のご協力で、竹楽器が完成、山口県で初めての子どもだけの竹楽器楽団「高泊たけの子オーケストラ」が誕生しました。翌年には、市内在住のガラス作家、西川慎先生・池本美和先生と当会当時代表の廣田由実が試行錯誤の上で誕生した楽器「グラスマリimba」、ガラス作家の先生方のご指導のもと、さららガラス未来館にて親子で制作したガラス楽器を奏でる団体「ONODAグラスアンサンブル」が誕生しました。この2団体を軸に、プロの演奏家と一緒に創るコンサート「生きる」は、コロナ禍で休演もありましたが、昨年14回目を開催しました。

子どもたちに、情緒豊かに成長し、夢と希望・思いやりの心をもって生きていくことの大切さを知ってもらいたい。プロのゲストを招いて音楽の底力・感動を体感し、また、プロとの共演は、子供たちにとって、大きな向上心を抱くこととなります。

人の心を豊かにし、演奏する側も、聴く側も、一体感を持って一つの空間を共有することができる。心も体もリフレッシュできる演奏会です。今回はさらにパワーアップしたコンサート『生きる』をお楽しみください。

ご寄附の使い道

ご支援頂いた寄付金は、心を元気にするコンサート
～パワーアップ『生きる』～に活用させていただきます。

日時：2023年11月23日(木) 14:00開演(開場13:30)

会場：不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館)大ホール

第1部 山陽小野田で生まれた竹楽器とガラス楽器の演奏

ONODAグラスアンサンブル、高泊たけの子オーケストラ

第2部 童謡、唱歌を愉しむ「日本のうた」

～子どもたちに継承するために～

坂井里衣(声楽 ソプラノ)、榎元圭(ピアノ)

第3部 ゲストと地元の音楽家による初公演

～空音唱(作曲家、ピアニスト)の世界～

空音 唱(ピアノ)、安永 めぐみ(ヴァイオリン)

川手 艶子(パーカッション)、岩木 麗香(フルート)

担当者メッセージ

全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部

顧問 廣田 由実



子どもたちに、心豊かにすくすくとこの地で育ってほしいという思いから、色々な方向から、音楽でアプローチしてきました。そしてたどり着いたのが創作楽器でした。沢山の方々の多大なお力で竹とガラスの楽器が本市で誕生しました。

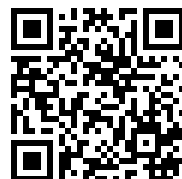
これまでにこの大切な楽器達と共に、「生きる」コンサートに参加した子供たちの顔は、達成感に満ちて、さらさら輝いています。これからも私たちは「音楽はみんなのもの、受動的なものではなく、みんなが楽しめる能動的な音楽の提供!」を掲げて地元に必要な音楽を探りながら、提供できれと思っています。

ご賛同いただけるようでしたら、ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

お申込みはインターネットが便利! (ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディングへ)

URL

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2549>



※このプロジェクトへの寄附は、ふるさと納税対象です。自己負担 2,000円で地域を応援できるふるさと納税の詳細は裏面へ

R5年度 事務事業評価シート

3

課・局・室・所(係)

シティセールス課

定住促進係

事務事業番号

215020207

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災			15	シティセールス・移住定住の推進		2	移住・定住の推進		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	UJIターン支援事業		7	地域おこし協力隊募集・受入事業			1ー(1)			政策的
事業概要	「地域おこし協力隊」は、都市地域から過疎地域などの条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を「地域おこし協力隊員」として委嘱する制度。隊員は、一定期間以上地域に居住し、「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。シティセールス課が地域おこし協力隊の受入を希望する担当課と共同して隊員募集のPRを行うことで、地域おこし協力隊に興味を持つ方と移住希望者に向けて、一括したPRを実施できるとともに、移住の前後における相談体制を提供することができ、3年後の定住率の向上に寄与すると考える。						対象	市内全域			
							手段	地域おこし協力隊の募集・受入れ			
							意図	行政課題に対する「地域協力活動」の実施及び定住人口の増加			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					地域おこし協力隊業務委託料	100千円	委託料	5,896千円
					募集ブース設置委託料	314千円	普通旅費	1,135千円
					普通旅費	472千円	報酬	899千円
							消耗品費	482千円
							建物借上料	450千円
							負担金及び交付金	319千円
							その他	1,240千円
合計						886千円		10,421千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					886千円		10,421千円
	合計					886千円		10,421千円
人工数 人件費					0.40人	2,330千円		
総経費						3,216千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	地域おこし協力隊の受入れ	活動			3名受入 1名受入 33.33%	2名受入
2						
3						

成果	地域おこし協力隊員の雇用体制にあたり、受入団体への委託雇用型を導入し、市の魅力発信業務における地域おこし協力隊の募集を行った。その結果、令和6年4月1日より、株式会社FM山陽小野田を受入団体とした地域おこし協力隊員1名を委嘱した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	地域おこし協力隊、地域、地方公共団体の「三方よし」となる協力隊員に人材確保が課題であり、優れた人材の確保に向けて、受入体制の整備や広くPRをしていく必要がある。					
目標達成度	D	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項						

地域おこし協力隊募集・受入事業

1, 地域おこし協力隊制度の概要

- 「地域おこし協力隊」は、都市地域から過疎地域などの条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を「地域おこし協力隊員」として委嘱する制度。
- 隊員は、一定期間以上地域に居住し、地域力の維持・強化に資する地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る。
- 地域おこし協力隊受入に当たっては、地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組になるよう制度を運営する必要がある。

2, 募集・受入事業の概要

- 庁内各課が抱える課題の対応に向けて、地域おこし協力隊の受入を希望する担当課とシティセールス課が共同して、募集要項の作成、隊員募集のPR、面接、委嘱決定を行う。
- 委嘱決定後は、地域おこし協力隊を受入れる担当課において、地域おこし協力隊員と共に課題対応に取り組む。

3, 募集・受入事業の手順

- ①庁内への周知（説明会の開催など）
- ②受入意向のある課はシティセールス課へ申込
- ③受入意向のある課へのヒアリング（企画課と連携）
- ④計画書・募集要項作成
- ⑤ホームページ等で募集開始
- ⑥面接
- ⑦地域おこし協力隊の委嘱決定
- ⑧隊員活動開始 ※

※⑧からは受入する担当課が事業を実施する。予算についても担当課が扱う。

4, 令和5年度の実績

①委託型の導入

	雇 用 型	委 託 型
雇用契約の有無	雇用契約がある	雇用契約がない
身分	会計年度任用職員	法人等に雇用される者 または個人事業主

②移住フェアへの出展

2024年1月に東京ビッグサイトで開催された「JOIN 移住・交流 & 地域おこしフェア」へ出展しPRを行った。

③地域おこし協力隊を募集（1名）

シティセールス業務に従事していただく隊員を委託型で募集し採用した。2024年4月から活動を開始した。

（受入する担当課：シティセールス課）

【参考】現行の地域おこし協力隊員

①隊 員 名	林 茂夫（はやし しげお）
②前 住 地	東京都
③委 嘱 日	令和5年6月1日
④身 分	雇用型隊員
⑤担 当 課	山陽総合事務所 地域活性化室
⑥業務内容	川上地域に居住し、地域の農業就農、特産品開発、情報発信に加え、川上地域の総合的支援 ・地域の草刈りや小麦の収穫の手伝い等の農業従事 ・地域の農産物や加工品を販売する「ゆめ市場川上」の運営支援 ・フェイスブックやInstagram、ラジオを活用した地域の情報発信 ・地域のロゴマークの作成や地域の加工品のブラッシュアップ など

①隊 員 名	西広 ショータ（にしひろ しょうた）
②前 住 地	東京都
③委 嘱 日	令和6年4月1日
④身 分	委託型隊員
⑤担 当 課	協創部 シティセールス課
⑥業務内容	本市の魅力を様々な分野から発信するとともに、イベント等を通じて、観光振興や本市の活性化を図る ・FMラジオを活用した市の情報発信 ・「スマイルハロウィンさんようおのだ」の企画・運営 ・山陽小野田市観光協会のSNSによる魅力発信 ・市外、県外において、本市パンフレットの配布 など

R5年度 事務事業評価シート

4

課・局・室・所(係)

シティセールス課

観光振興係

事務事業番号

225020205

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4 産業・観光				25	観光・交流の振興				2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	観光振興事業				5	ゴルフ場PR事業				3－(1)		
事業概要	当該事業では、本市における観光資源の1つである「ゴルフ場」にスポットを当て、本市を「ゴルフのまち」としてPRすることにより、本市の認知度向上及び誘客促進を図ることを目的とする。 令和5年度は、市内6か所のゴルフ場の特色が分かるパンフレット10,000部を作成した。各ゴルフ場の魅力を写真や動画で紹介するほか、市内宿泊施設、グルメ・お土産情報、観光スポットの情報などと内容の充実を図り、ゴルフ場を拠点とし、市内周遊を促すことができるものとした。									対象	市外・県外の人		
										手段	紙媒体(パンフレット)の制作及び配布により市内6か所のゴルフ場への誘客促進を行う		
										意図	観光客数の増加		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					報償金	8千円	パンフレット制作業務委託料	1,000千円
					パンフレット制作業務委託料	990千円		
合 計						998千円		1,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	495千円	1/2	500千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					503千円		500千円
	合 計					998千円		1,000千円
人工数 人件費					0.25人	1,142千円		
総経費						2,140千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	ゴルフ場利用者数	成果			270,125人 280,162人 103.38%	281,000人
2						
3						

成果	各場におけるコースの特色、レストランや入浴設備など、ゴルフ場利用者の関心がある施設情報に加え、ゴルフ場のドローン空撮、飲食店や宿泊施設、観光スポットにおける観光情報の充実を図り、魅力的なパンフレットを制作することができた。 しかしながら、仕様書の見直し等に時間を要したことから、パンフレットの配布に至ることができなかった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後については、ゴルフ場事業者と協議を行い、ゴルフ場の利用促進及び市内への観光誘客の促進につなげる取組を検討する必要がある。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項						

■ゴルフ場PR事業について

1 事業目的

本市における観光資源の1つである「ゴルフ場」にスポットを当て、本市を「ゴルフのまち」としてPRすることにより、本市の認知度向上及び観光誘客を図ることを目的とする。

2 事業概要

市内6か所のゴルフ場の特色が分かるパンフレットを作成し、市内ゴルフ場のほか、山陽小野田市観光振興プランで設定した県内、北部九州エリアのゴルフ練習場での情報発信の強化を図る。また、市外及び県外における観光PRイベントにおいても、パンフレットを活用し、積極的にゴルフ場のPRを行うこととする。

3 パンフレットの内容等

コースの特色、レストランや入浴設備など、ゴルフ場利用者の関心がある施設情報のほか、市内のエリアMAPを加え、飲食店や宿泊施設を紹介し、観光スポットへの周遊につなげる。

(1) 規格：A5版カラー刷り・26ページ

(2) 部数：10,000部

(3) パンフレットの内容

ア ゴルフ場の概要、施設の紹介

イ コースの特色、コースレイアウト、コースデータ、ドローン空撮のコース紹介動画

ウ ゴルフ場内のレストランや売店、入浴施設、ホール、会議室 等

エ 市内の宿泊施設

オ 市内のグルメ情報

カ 市内の観光スポット

キ お土産情報

ク エリアMAP

ケ ゴルフ場までの交通アクセス

(4) 業者選定方法：公募型プロポーザル方式

(5) 受託事業者：有限会社きららナビデザインワークス

(6) 令和6年度配布先（参考）

①市内ゴルフ場（6か所）

②県内ゴルフ練習場（本市、下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、長門市、美祢市）

③北部九州ゴルフ練習場（北九州市、福岡市）

④市外からの集客が見込める施設等

⑤市外及び県外における観光PRイベント

R5年度 事務事業評価シート

5 課・局・室・所(係) 市民活動推進課 地域運営組織推進室 事務事業番号 211010101

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災			11	地域づくりの推進		1	持続可能な地域づくりの推進		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	地域運営組織推進事業			1	地域運営組織推進事業			1－(1)		交流
事業概要	地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす方々が中心となって、様々な地域課題の解決に向けた取組を継続的に実践することを目的とした地域運営組織(RMO)の形成を推進する。 令和5年度は、地域運営組織の形成に向けた取組を行う地区に対して人的支援・財政的支援を行う。 (アドバイザー派遣事業) 地域づくりを専門としたアドバイザーを招聘し、地域運営組織の形成に向けた取組を強化する。 (地域運営組織形成支援補助金) 地域運営組織の形成に向けた検討を始める地区に対して、1地区あたり10万円の補助金を交付する。						対象	各地域のまちづくり団体、地域住民			
							手段	人的・財政的支援、人材育成			
							意図	住民が主体となった地域課題解決への取組を推進			

事業期間	R3	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	講師謝礼	376千円		講師謝礼	90千円		委託料	3,089千円		地域づくり交付金 25,736千円
	普通旅費	352千円		消耗品費	13千円		負担金、補助及び交付金	1,000千円		アドバイザー業務委託料 2,852千円
	消耗品	50千円		通信運搬費	14千円					消耗品費 50千円
	備品購入費	208千円								通信運搬費 50千円
										庁用器具費 50千円
										普通旅費 31千円
										その他 10千円
	合 計		986千円		117千円			4,089千円		28,779千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	317千円	1/2	58千円					
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		669千円		59千円			4,089千円		28,779千円
	合 計		986千円		117千円			4,089千円		28,779千円
人工数	人件費	0.70人	4,048千円	0.85人	4,451千円		1.10人	6,000千円		
	総経費		5,034千円		4,568千円			10,089千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	研修会・ワークショップ・説明会等の開催回数	活動	3回	36回	36回	12回
			1回	12回	112回	
			33.3%	33.3%	311.11%	
2	地域運営組織の形成数	成果				11
3	設立準備会の設置	活動			11	
					10	
					90.91%	

成果	(地域の動き) R5.5月から各地区へ地域運営組織検討会の設置に向けた話し合いを実施し、10地区で検討会が立ち上がった。R5.5月末から各地区において、地域住民に対して地域づくり政策アドバイザーによるワークショップを開催した。地域運営組織についての理解を深めるとともに、話し合いの体験ミニワークを実施により、各地区の組織形成に向けての足がかりとなった。〈行政の動き〉地域運営組織の設立に向け、地域交流センター職員へ計画づくりや組織形成に向けた研修会を6回開催し、各地区への支援を実施した。また、市からの補助金等を可能な範囲で一本化し交付する一括交付金の制度を策定しR6年度からの財政支援の基盤を作った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	地域運営組織の設立後も、地域づくり政策アドバイザーの助言を受けながら、事業計画や予算、地域づくり計画の見直しを行い、各地区の地域運営組織が円滑な運営が実施できるよう個別の支援を行っていく。また、市が実施する事業のうち、今後、地域が行った方が効果の見込まれる事業については、別途メニュー化し、各地区の希望に応じて選択して取り組むことができる仕組みを検討する。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	特別交付税措置あり					

令和5年度は、各地区において地域運営組織形成に向けた検討会が設置され、地域交流センターによるコーディネートのもとで、先進地視察や住民ワークショップ等を行いながら、地区の現状や課題、めざす姿やそれに向けた取組等について話し合いが行われてきた。また、新たに地域づくりを専門とするアドバイザーを招聘し、各地区への出前講座や地域交流センター職員への研修・相談対応を通じて、取組をサポートする体制を整えた。

アドバイザー派遣事業

(アドバイザー業務委託料：3,089千円)

■地域づくり政策アドバイザー

NPO法人 市民プロデュース 理事長 平田 隆之 氏

山口ゆめ花博（2018）などをはじめ、様々なイベントで多様なセクターをつなぐ協働の架け橋の役割を果たしてきた。中山間地域の地域運営組織に対する組織・計画づくりの支援、支援者向けの研修等も行う。市民の自主的、主体的な活動の支援、対話による協働の推進、実現を柱として活動中。

山口市総合計画市民ワークショップ運営（2016）、山口県中山間地域支援事務局（2019～）、長門市協働政策アドバイザー（2020～2022）、山口県キラリ!と輝く県民活動イベントディレクター（2023）ほか

＜委託内容＞

職員や地域づくり支援員を対象とした研修会の開催、各地区におけるワークショップ開催時のファシリテート、地域づくり支援員を活用した中間支援機能の強化などのトータルサポート

＜委託契約期間＞

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで ※令和6年度も継続して契約中

＜令和5年度実績＞

地域向け出張講座 ワークショップ	・地域運営組織の概要と話し合いの体験(10地区) ・まちづくりワークショップ(有帆地区) ・地域づくりについて知ろう(市老人クラブ連合会)	5/27～6/29 延べ253名参加 10/30 約30名参加 3/4 約30名参加
地域交流センター 職員向け研修会	・これからのセンター長の役割 ・今後のスケジュールづくり ・地域づくり計画の作り方、ワークショップの設計 ・取組の振り返りと自己評価 ・主事向けファシリテーション講座 ・これからの進め方と事業づくり	6/30 7/19 9/22 12/15 1/30 3/18
先進地視察研修	採銅所地域コミュニティ協議会(福岡県田川郡香春町)	8/16
行政向け個別相談	検討会の運営サポート、地域交流センターとの個別相談	随時



地域運営組織推進事業

地域運営組織形成支援補助金交付事業

(地域運営組織設立支援補助金：1,000千円)

令和5年度中に「地域運営組織形成に向けた検討会」が立ち上がった10地区について、組織形成に向けた話し合いや先進地視察、住民ワークショップやアンケート等の実施に要する経費に対して、補助金の交付を行った。(1地区あたり10万円×10地区＝1,000千円)

それぞれの地区の事情により、進み方にこそ違いはあるものの、検討会を中心に話し合いが活発に行われることで地域づくりへの機運が醸成され、いずれの地区も設立に向けて準備が進められているところである。

<検討会における主な協議事項>

地域の現状や課題の共有、既存の地域活動や今後考えられる取組

地域づくり計画（将来ビジョン）の策定、事業計画及び組織体制、規約の検討ほか

<各地区検討会 令和5年度活動実績>

地区名	名称	設立日	話し合い等の回数	延べ人数
本山	本山地区地域運営組織形成検討会	R5.11.15	5	135
赤崎	(主要な地域団体において形成に向けて検討中)			
須恵	須恵地域まちづくり協議会設立準備委員会	R5.8.1	9	211
小野田	小野田地区地域運営組織形成検討会	R5.9.15	13	131
高泊	高泊地区地域運営組織形成検討会	R5.10.4	8	117
高千帆	高千帆地区地域運営組織形成検討会	R5.10.12	17	244
有帆	有帆地区まちづくり検討会	R5.9.27	6	113
厚狭	厚狭地区地域運営組織形成検討会	R6.2.26	2	29
出合	出合地域運営組織形成検討会	R5.10.13	7	103
厚陽	厚陽地区運営組織形成検討会	R6.1.18	4	56
埴生	埴生地域運営組織形成検討会	R5.8.8	22	230
		(合計)	93	1369



R5.11月 検討会ワークショップ（高千帆）



R5.10月 阿武町先進地視察（出合）

R5年度 事務事業評価シート

6 課・局・室・所(係) 市民活動推進課 地域運営組織推進室 事務事業番号 211010103

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災		11	地域づくりの推進		1	持続可能な地域づくりの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域運営組織推進事業	3	集落支援員設置事業					政策的
	集落支援員とは、地域の実情に詳しく、地域づくりの推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携して、地域への目配りとして、地域の巡回、状況把握等を行う者である。 本市では、「地域づくり支援員」として、現在取組中の地域運営組織の形成に向けて、地域住民と市による話し合いの場の中間支援や地域運営組織形成後の事務局機能を担う中核的な役割を担う。 R5年度は、地域運営組織の形成に向けた取組を強化するため、各地域交流センターに1名配置する。(計 11名配置予定) ■R5.9月補正 地域づくり支援員が使用する行政系ノートパソコン(11台)及び会議用ノートパソコン(2台)を整備する。					対象	集落支援員		
						手段	集落支援の実施、地域と市の話し合いの場の参加等		
						意図	地域運営組織の組織化の促進、事務局機能		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					報酬	5,984千円	会計年度任用職員報酬	14,055千円
					職員手当	717千円	期末勤勉手当	5,159千円
					旅費(通勤手当)	94千円	共済組合負担金	2,488千円
					共済費	662千円	費用弁償	832千円
					備品購入費	1,444千円	普通旅費	115千円
					使用料及び賃借料	187千円	消耗品費	110千円
							その他	100千円
合計						9,088千円		22,859千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					9,088千円		22,859千円
合計						9,088千円		22,859千円
人工数 人件費					0.20人	1,165千円		
総経費						10,253千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	地域づくり支援員の配置	活動			11	11
					8	
					72.72%	
2						
3						

成果	令和5年度は、8地区について地域づくり支援員を配置することができた。地域づくり支援員会議やセンター職員との合同研修会を定期的に開催することで、各地区では、ワークショップの実施や地域づくり計画の策定などR6年度中の組織形成に向けたプロセスを踏むことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	未配置となっている地区については、適切な人材が配置できるよう、引き続き地区との協議を進めていく。地域運営組織の設立後は、事務局機能の強化を図るため、支援員の更なる資質向上に伴う研修機会の提供、また、総務省における集落支援制度を活用し、支援員の増員等を検討する必要がある。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	特別交付税措置あり					

令和5年度より、地域運営組織の形成に向けた取組を後押しする人的支援として、各地区に1名ずつ地域づくり支援員（集落支援員制度を活用）の配置を進めている。令和5年度においては、地域による推薦のもと、地域の実情に詳しく、取組に意欲ある人材を市内11地区中8地区に配置することができた。地域づくり支援員は、主に地域運営組織形成検討会の運営支援のほか、地区の現状や課題の整理、地域づくり計画の策定支援等を、地域交流センター長とともに進めており、中間支援の役割が、各地区において組織形成に向けた一助となっている。

今後も取組が進んでいく中で、未配置となっている地区においては、早期に適切な人材が配置できるよう地区との話し合いを継続していく。

配置状況

(R6.3月時点)

本山	赤崎	須恵	小野田	高泊	高千帆	有帆	厚狭	出合	厚陽	埴生
	人選中			人選中			人選中			
R5.7～3		R5.7～	R6.2～		R5.8～	R5.8～		R5.10～	R5.8～	R5.8～

(R6.4月以降～)



(R6.7～)



(R6.4～)



(R6.9～予定)

現在の主な業務

- ・地域運営組織形成検討会の運営支援（会議案内、資料作成、進行等）
- ・地域づくり計画（案）の検討、策定支援
- ・住民ワークショップ、アンケート等の企画・調整
- ・地域づくり支援員会議への参加（他の支援員との連携、情報共有） ほか

<決算額>

事業名	予算科目	決算額(千円)	備考
集落支援員設置事業	報酬	5,984	支援員報酬
	職員手当	717	期末手当
	旅費	94	通勤手当
	共済費	662	社会保険料
(9月補正)	備品購入費	1,444	地域づくり支援員用パソコン
	使用料及び賃借料	187	セキュリティほかライセンス料
	(合計)	9,088	



R5年度 事務事業評価シート

7 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020601

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ		31	スポーツによるまちづくりの推進		2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	6	おのだサッカー交流公園運営事業	1	サッカー交流公園運営業務			3-(2)			施設維持管理
事業概要	令和5年4月から市立サッカー交流公園に、新たに指定管理者制度を導入することで、スポーツ活動を通じた交流を生み、交流した人の笑顔が市内外に広がっていくような発信拠点としての運営を目指す。 【施設概要】 天然芝サッカー場1面、多目的スポーツ広場(人工芝)2面 交流施設棟1棟 ※管理事務所、会議室2室、更衣室、シャワー設備ほか 倉庫棟1棟、外周園路、駐車場(普通車210台ほか)						対象	市民、近隣住民		
							手段	施設の管理運営及びスポーツを通じた交流促進事業の実施		
							意図	スポーツによるまちづくりの推進		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					指定管理者委託料	65,589千円	指定管理者委託料	65,589千円
					修繕料	982千円	修繕料	1,000千円
					保険料(建物共済)	35千円	保険料(建物共済)	37千円
合計						66,606千円		66,626千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				まちづくり魅力基金ほか	30,105千円	まちづくり魅力基金ほか	30,110千円
	一般財源					36,501千円		36,516千円
	合計					66,606千円		66,626千円
人工数 人件費					0.45人	1,398千円		
総経費						68,004千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	年間交流公園利用件数	成果		1,500件	1,500件	1,500件	1,900件
				1,523件	1,971件	1,879件	
				101.53%	131.40%	125.27%	
2	年間交流公園利用者数	成果		100,000人	100,000人	100,000人	110,000人
				64,631人	90,172人	96,283人	
				64.63%	90.17%	96.28%	
3							

成果	令和5年度より、新たに指定管理者(レノファ・アクティオ共同体)に運営業務を委託する中で、従前に比べ天然芝グラウンドの状態が一年を通じ良好であること、また、サッカーのみならず様々なイベントを企画・開催されており、情報発信も強化(専用HPやInstagramの開設)されたことで、コロナ禍により利用が大きく落ち込んでいたところ、令和5年度についてはコロナ禍前を上回る利用者数に達することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	「まちの価値を創る」上で、サッカー交流公園は、レノファ山口FCトップチームの練習拠点として唯一無二の施設で、スポーツによるまちづくりの推進を図る拠点として、市民の方に広く認知していただくとともに、更なる利用者拡大に向けた事業を展開していく必要がある。そのため、指定管理者(レノファ・アクティオ共同体)と連絡を密に取りながら、提案業務や自主企画運営業務を充実させることで、認知度の向上と利用者拡大を目指す。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項						

令和５年度以降の市立サッカー交流公園の運営について

指定管理者：レノファ・アクティオ共同体

指定の期間：令和５年４月１日～令和１０年３月３１日（５年間）

指定管理料：限度額（単年度）５９，６２６千円（５箇年計）２９８，１３０千円

※消費税及び地方消費税の額を除く

事業の目的：山陽小野田市立サッカー交流公園は、スポーツ活動を通じて市民の交流及び連携を促進し、市民の誰もが心身ともに健やかに暮らし、活力と笑顔あふれるまちづくりに寄与することを設置目的としている。

この交流公園に、指定管理者制度による民間活力を導入し、多くのスポーツ活動に伴う交流を生み、交流した人の笑顔が市内外に広がっていくような発信拠点としての運営を行っていくことを目的とする。

業務の内容：（１）施設の維持管理及び保守業務

- ①植栽管理、②清掃、③保守点検、④日常点検、⑤警備、⑥修繕、
⑦備品管理

（２）施設の利用業務（使用許可に関する業務を含む。）

- ①施設利用、②利用促進、③市との連絡調整、④環境衛生、
⑤経理、⑥決算

（３）危機管理に関する業務

- ①災害時の対応、②予防対策、③園内巡視、④保険加入

（４）提案業務

自らの提案により、事業目的、各種法令、例規等を満たす範囲内において、付加的なサービスを提供する業務

（５）自主企画運営業務

「スポーツによるまちづくりの推進」に関連する業務

●市立サッカー交流公園の変遷

平成 18 年 7 月	山口県立おのだサッカー交流公園竣工（工事費約 30 億円）
平成 22 年 2 月	多目的スポーツ広場（人工芝グラウンド）新設
平成 29 年 2 月	スポーツ交流施設（クラブハウス）竣工
令和 3 年 4 月	施設の移管（山口県から山陽小野田市へ） 山陽小野田市立サッカー交流公園に改名（直営）
令和 3 年 6 月	ネーミングライツ導入／愛称「おのサン サッカーパーク」
令和 5 年 4 月	指定管理者制度導入（レノファ・アクティオ共同体が運営）

●市立サッカー交流公園の年間利用件数及び利用者数の変遷（直近 6 年間）

年 度	利用件数	利用者数	年 度	利用件数	利用者数
令和 5 年度	1,879 件	96,283 人	令和 2 年度	1,012 件	37,540 人
令和 4 年度	1,971 件	90,172 人	令和元年度	1,663 件	80,621 人
令和 3 年度	1,523 件	64,631 人	平成 30 年度	1,862 件	95,371 人

●主な提案業務及び自主企画運営業務

- ・ オータムフェス 2023（R5.10.15） 【費用 100 万円／集客数 1,800 人】

内容／年に一度の大規模イベントを行い、新たな魅力を市民や利用者に紹介

- ・ 初心者のためのサッカー観戦講座（年 3 回）【費用 54 万円／参加者数 120 人】

内容／初心者でも分かるサッカー観戦の仕方を、鳥養祐矢氏とトクダトモ氏が解説

- ・ パブリックビューイング（R5.5.28） 【費用 5 万円／参加者数 140 人】

内容／レノファ山口 F C アウェイ戦を「おのだサンパーク」で実施

- ・ レノファ山口 F C 活動報告（2024 年 1 月期）

公開練習 18 回、公開トレーニングマッチ 3 回【観客数 2,250 人】

※上記のほか、初心者サッカー教室、あきさがし（公園美化活動）、凧揚げ、天然芝でヨガ教室、チャレンジランキング、SNS 広告等を実施



・ 初心者のためのサッカー観戦講座（年3回）



・ パブリックビューイング（R5. 5. 28）



・ その他イベント（あきさがし、凧揚げ、ヨガ教室）



R5年度 事務事業評価シート

8

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務・指導係

事務事業番号

226030402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	2	小学校社会科副読本デジタル化事業		デジタル化		政策的
事業概要	小学校3・4年生の社会科学習では、地域を教材化した副読本を使用し授業を実施している。副読本「はっけん！山陽小野田」は、本市の歴史や文化・産業、主要施設など、地域の情報を掲載している。 令和5年度は新学習指導要領を踏まえて、本市の現状に合うように副読本を改訂する必要がある、この機会に、これからの学習者用デジタル教科書の導入の流れに向けて、1人1台端末を効果的に活用し、副読本のデジタル教科書化を推進する。 また、一般の大人もWebで閲覧が可能となるため、市内外の人に、本市の住みよさや歴史、文化を知ってもらい、住んでみたいと思ってもらえるよう、シティセールスのツールとして活用する。				対象	副読本		
					手段	デジタル社会科副読本を使用して、児童に本市の特色等を伝える。		
					意図	ふるさとへの愛着心を育む。		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					普通旅費	5千円	システム保守委託料	548千円
					システム開発委託料	9,155千円		
合計						9,160千円		548千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	4,577千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他						ふるさと支援基金	548千円
	一般財源					4,583千円		
	合計					9,160千円		548千円
人工数 人件費			0.10人	573千円	0.31人	1,806千円		
総経費				573千円		10,966千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	デジタル社会科副読本を使用して授業を行った学校数	活動			(システム構築) 完了 100.00%	11校
2						
3						

成果	事業者が決定した後、事業者と教育委員会担当者、編集委員等で定例会を行い、情報共有や各コンテンツ機能やその実装について協議を重ねた。 令和6年4月から、公開し、授業で活用している。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年4月から、デジタル副読本を小学3、4年生の授業での活用しており、一人一台端末の学習効果の向上が期待できる。また、市ホームページ上でも一般公開しており、シティセールスのツールとしての活用も期待できる。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

小学校社会科副読本デジタル化事業

【概要】

小学校３・４年生の社会科学習で使用する副読本「はっけん！山陽小野田」の改訂にあわせ、デジタル教科書化することで、動画や３６０度ＶＲ映像による視覚的なコンテンツや、クイズや地図機能など、子どもたちの学習への意欲や興味関心を高める。

また、市ホームページで公開することで、市内外の人に、本市の住みよさや歴史、文化を知ってもらい、住んでみたいと思ってもらえるよう、シティセールスのツールとして活用する。

【導入スケジュール】

令和５年　５月　公募型プロポーザル方式による募集開始

６月　プレゼンテーション

７月　契約締結

７月～２月

・編集委員（小学校教諭）、制作業者、教育委員会事務局によるデジタル副読本制作会議の実施

令和６年　２月　小学校２校で試験運用

３月　デジタル副読本「はっけん！山陽小野田」の納品

４月　運用開始

【デジタル副読本「はっけん！山陽小野田」の特徴】

- １．動画や３６０度カメラによる写真などの視覚的コンテンツ
- ２．児童がふるさとのことに興味・関心が持てるようなクイズ機能の充実
- ３．児童生徒の１人１台端末の整備により、家庭学習でも活用可能
- ４．市ホームページからも閲覧できるため、だれでも利用可能

<https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/kyoui/haken-sanyoonoda.html>



R5年度 事務事業評価シート

9 課・局・室・所(係) 子育て支援課 子育て支援係 事務事業番号 201020708

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	1	子育て・福祉・医療・健康			1	子育て支援の充実		2	子育ての不安と負担の軽減		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	7	子育て祝金給付事業		8	入学祝金給付事業			2ー(1)			政策的
事業概要	次代を担う子どもの健全育成を図ること及び子育て世代の定住を目的として、小学校入学を迎える子どもの保護者に対して祝金を給付する。また、令和5年度から対象を拡大し、中学校入学を迎える子どもの保護者に対しても祝金を給付する。						対象	小学校及び中学校入学を迎える児童の保護者			
							手段	対象者に定額の祝金の給付			
							意図	児童の健全育成及び子育て世代の定住			

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			入学祝金	24,250千円	入学祝金	49,050千円	入学祝給付金	50,500千円
			通信運搬費	74千円	通信運搬費	113千円	通信運搬費	172千円
			印刷製本費	17千円	消耗品費	47千円	消耗品費	58千円
							印刷製本費	40千円
合計				24,341千円		49,210千円		50,770千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金		10/10	24,341千円	10/10	40,000千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	9,050千円	ふるさと支援基金	50,500千円
	一般財源					160千円		270千円
	合計			24,341千円		49,210千円		50,770千円
人工数 人件費			0.05人	287千円	0.15人	874千円		
総経費				24,628千円		50,084千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	入学祝金の対象者数(小学校)	活動		500人 485人 97.00%	470人 451人 95.95%	450人
2	入学祝金の対象者数(中学校)	活動			550人 530人 96.36%	560人
3						

成果	子育て世代の定住の一助となっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

10

課・局・室・所(係)

子育て支援課

保育係

事務事業番号

201010118

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	1	子育て・福祉・医療・健康		1	子育て支援の充実		1	働く子育て家庭の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	保育所等運営支援事業	18	認定こども園整備助成事業						政策的
事業概要	認定こども園の整備に対し補助することで、認定こども園の健全な運営に寄与するとともに、教育・保育環境を整えることで安全な教育・保育を行うことができる。 また、認定こども園に移行するための施設整備について補助することにより、定員を確保し、待機児童の解消を図る。 (12月補正) 国の交付基準額増額に伴う補正					対象	認定こども園設立者			
						手段	施設整備費の一部助成			
						意図	認定こども園の健全経営、教育・保育環境の改善、待機児童の解消			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					認定こども園施設整備補助金	192,694千円		
合計						192,694千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	141,944千円		
	県支出金							
	地方債				80%	51,300千円		
	その他							
	一般財源					-550千円		
	合計					192,694千円		
人工数 人件費					0.31人	1,806千円		
総経費						194,500千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	整備施設数	活動			1	
					1	
					100.00%	
2						
3						

成果	認定こども園の整備を希望する学校法人に補助することで教育・保育環境を整えるとともに3歳未満児の定員の確保につなげた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	
特記事項	負担割合 国1/2 市1/4 事業者1/4 令和6年度償還金13,481千円で精算予定					

認定こども園整備概要

- 施設名 認定こども園小野田めぐみ幼稚園
 - 施設種別 幼稚園型認定こども園
 - 設置主体 学校法人小野田めぐみ学園
 - 所在地 山陽小野田市稲荷町3-25
 - 建築延面積及び構造 632.52 m² 木造1階建
 - 定員 整備前60人 → 整備後69人
 - 支給認定区分別内訳 整備前 1号60人
整備後 1号36人 2号18人 3号15人
- ※1号（教育）認定・・・幼稚園、認定こども園（3歳以上）
2号（保育）認定・・・認可保育所、認定こども園（3歳以上）
3号（保育）認定・・・認可保育所、地域型保育、認定こども園（3歳未満）





R5年度 事務事業評価シート

11

課・局・室・所(係)

子育て支援課

保育係

事務事業番号

201030301

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	1	子育て・福祉・医療・健康		1	子育て支援の充実		3	地域社会での子育て支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	3	子どもの生涯学習事業		1	地域子ども健全育成事業		2ー(1)			政策的
事業概要	小野田児童館の廃止に伴い、小野田児童館で実施していた児童の健全育成事業を事業形態を振り替えて実施する。毎月2回程度地域交流センター等を活動場所として、子どもが遊びによって心身の健康を増進し、知的・社会的能力を高め、情緒を豊かにするよう魅力的な遊びを提供する。					対象	小野田校区の小学生			
						手段	児童の健全な遊びの提供			
						意図	児童の健全育成の図る			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					地域子どもクラブ業務委託料	1,430千円	地域子どもクラブ業務委託料	1,716千円
合 計						1,430千円		1,716千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					1,430千円		1,716千円
	合 計					1,430千円		1,716千円
人工数 人件費					0.05人	291千円		
総経費						1,721千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	地域子どもクラブ登録者数	活動			30人 登録制とせず -	
2	地域子どもクラブのべ参加者数	活動			127人 -	240人
3	地域子どもクラブ開催回数	活動			18回 -	24回

成果	令和5年7月から毎月2回実施し、令和5年度はのべ127人の参加があった。地域の方を講師として、茶道やかるたなどの講座を開催し、児童に健全な遊びを提供して健康の増進を図り、情操を豊かにするとともに異年齢の児童間及び地域との交流を図った。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

令和5年度 小野田地域子どもクラブ実績

参加者数（人）

参加者数（人）									
	実施日	プログラム名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
		場所							
7月	7月15日	お茶っ子教室	2	1	1	0	0	0	4
		小野田地域交流センター							
	7月29日	折り紙教室	2	2	3	1	0	0	8
		小野田児童クラブ							
8月	8月5日	かるた教室	1	0	0	0	1	0	2
		小野田地域交流センター							
	8月19日	書道教室	1	0	3	3	1	1	9
		小野田地域交流センター							
9月	9月2日	かるた教室	2	0	0	0	2	0	4
		小野田児童クラブ							
	9月16日	折り紙教室	2	2	3	2	0	0	9
		小野田児童クラブ							
10月	10月14日	かるた教室	0	1	1	0	0	0	2
		小野田児童クラブ							
	10月28日	お茶っ子教室	1	1	2	1	0	0	5
		小野田地域交流センター							
11月	11月4日	レクリエーション教室	3	1	2	2	0	0	8
		小野田児童クラブ							
	11月25日	かるた教室	2	1	0	1	0	1	5
		小野田児童クラブ							
12月	12月2日	かるた教室	2	1	2	2	0	1	8
		小野田児童クラブ							
	12月9日	折り紙教室	1	5	3	2	0	1	12
		小野田児童クラブ							
1月	1月13日	かるた教室	2	1	3	1	0	0	7
		小野田児童クラブ							
	1月9日	レクリエーション教室	1	3	2	2	0	0	8
		小野田児童クラブ							
2月	2月3日	かるた教室	2	1	3	2	0	1	9
		小野田児童クラブ							
	2月17日	折り紙教室	2	4	6	2	0	0	14
		小野田児童クラブ							
3月	3月2日	かるた教室	3	2	1	1	0	0	7
		小野田児童クラブ							
	3月9日	お茶っ子教室	2	2	1	1	0	0	6
		小野田地域交流センター							
合 計			31	28	36	23	4	5	127

	実施回数 (回)	参加者数 (人)
かるた教室	8	44
お茶っ子教室	3	15
書道教室	1	9
折り紙教室	4	43
レクリエーション教室	2	16
合計	18	127

開催場所	開催回数 (回)
小野田児童クラブ	13
小野田地域交流センター	5



かるた教室の状況



お茶っこ教室の状況



レクレーション教室開催状況



折り紙教室開催状況

R5年度 事務事業評価シート				12	課・局・室・所(係)	子育て支援課	子育て支援係	事務事業番号	201020405
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)	
	1	子育て・福祉・医療・健康			1	子育て支援の充実		2	子育ての不安と負担の軽減
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	乳幼児・子ども医療費等助成事業	5	子ども医療費助成拡充事業			2-(1)		政策的
	子育て世代の経済的負担軽減を目的として、平成28年8月から対象年齢を拡充し、小1から中3までの児童の保険適用医療費の自己負担分のうち1割分を助成し、令和2年8月から助成割合を2割に拡充、令和3年8月から助成割合を3割(全額)に拡充した。ただし、子どもの父母の市町村民税所得割の額が136,700円を超える世帯は対象外であった。令和5年8月から所得制限を撤廃し、小1から中3までの児童全員を対象とした。					対象	小学1年生から中学3年生まで		
						手段	対象者に受給者証を交付し、医療費自己負担分助成する		
						意図	医療費助成による子育て支援		

事業期間	R5 年度		～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	子ども医療費助成費	48,568千円		子ども医療費助成費	67,591千円	子ども医療費助成費	114,379千円	子ども医療費助成費	131,600千円
合 計		48,568千円		67,591千円			114,379千円		131,600千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	高額療養費、ふるさと支援基金	30,300千円	高額療養費、ふるさと支援基金	30,673千円	高額療養費、ふるさと支援基金	50,652千円	高額療養費、ふるさと支援基金	41,000千円
	一般財源		18,268千円		36,918千円		63,727千円		90,600千円
	合 計		48,568千円		67,591千円		114,379千円		131,600千円
人工数 人件費	0.25人	1,450千円		0.20人	1,147千円	0.35人	2,039千円		
総経費		50,018千円		68,738千円			116,418千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	受給者証発行枚数	活動		2,500人	2,500人	4,700人	4,600人
				2,397人	2,453人	4,171人	
				95.88%	98.10%	88.74%	
2							
3							

成果	市内在住の小学1年生から中学3年生まで、保護者の所得によらず、医療費助成の対象とし、子育て支援の一助となった。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート				13	課・局・室・所(係)	子育て支援課	保育係	事務事業番号	201010106
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	1	子育て・福祉・医療・健康			1	子育て支援の充実		1	働く子育て家庭の支援
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	保育所等運営支援事業		6	小野田地区公立保育所整備事業		2ー(1)		
事業概要	市内の公立保育所は、いずれも老朽化や定員に対する入所児童割合の不均衡による運営の非効率等の課題を抱えている。これらを改善するため、公立保育所再編基本計画に基づき、公立保育所の再編整備を行う。 小野田地区の日の出保育園は、現在の120名と同じ規模で、購入した既存園舎北側土地に建て替える。					対象	公立保育所		
						手段	再編計画に基づき再編整備する		
						意図	公立保育所の環境改善及び運営の効率化を実現する		

事業期間		R2年度 ～ R10以降年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	旅費	24千円	測量調査委託料	3,410千円	地質調査委託料	9,823千円	工事請負費(建築・機械)	551,800千円	
	補償費算定業務委託料	5,445千円	設計委託料(基本設計)	2,100千円	実施設計業務委託(水路・造成)	3,594千円	実施設計業務委託(建築)	17,600千円	
	用地購入費	71,006千円	消耗品費	5千円	消耗品費	55千円	家屋調査委託料	8,088千円	
	補償費	55,098千円			備品購入費	17千円	工事監理委託料	4,400千円	
					【繰越】設計委託料(基本設計)	8,119千円	工事請負費(迂回路整備工事)	4,100千円	
							設計意図伝達委託料	1,600千円	
							その他	1,020千円	
	合 計		131,573千円		5,515千円		21,608千円		588,608千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債	100%	126,100千円			80%	10,700千円	50%、80%	516,200千円
	その他			まちづくり魅力基金	2,100千円				
	一般財源		5,473千円		3,415千円		10,908千円		72,408千円
	合 計		131,573千円		5,515千円		21,608千円		588,608千円
人工数	人件費	0.20人	1,157千円	0.60人	3,440千円	1.25人	7,282千円		
総経費			132,730千円		8,955千円		28,890千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	待機児童数(厚生労働省基準) 3月末現在	成果	減少	減少	減少	減少	減少
			33人	18人	20人		
			-	-	-		
2							
3							

成果	令和5年度は、令和4年度から繰り越した基本設計業務を完了させ、実施設計(建築)業務に着手した。また、地質調査業務を行うとともに実施設計(水路・造成)業務を行い、水路・造成工事に着手した。計画的に事業を進め、小野田地区公立保育所の環境改善を図る。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	R5→R6繰越 水路・造成工事20,000千円					

1 階平面図 S=1 : 150

■面積表		
	床面積	防火区画検討用 (最大区画面積)
1 階	828.95	736.44
2 階	810.20	752.39
延床面積	1,639.15	1,488.83
主要構造部	耐火構造	

事務室		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	50.11㎡	
S2(壁内)	—	

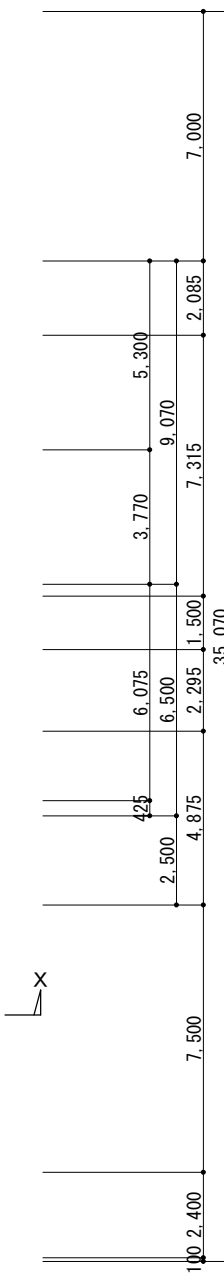
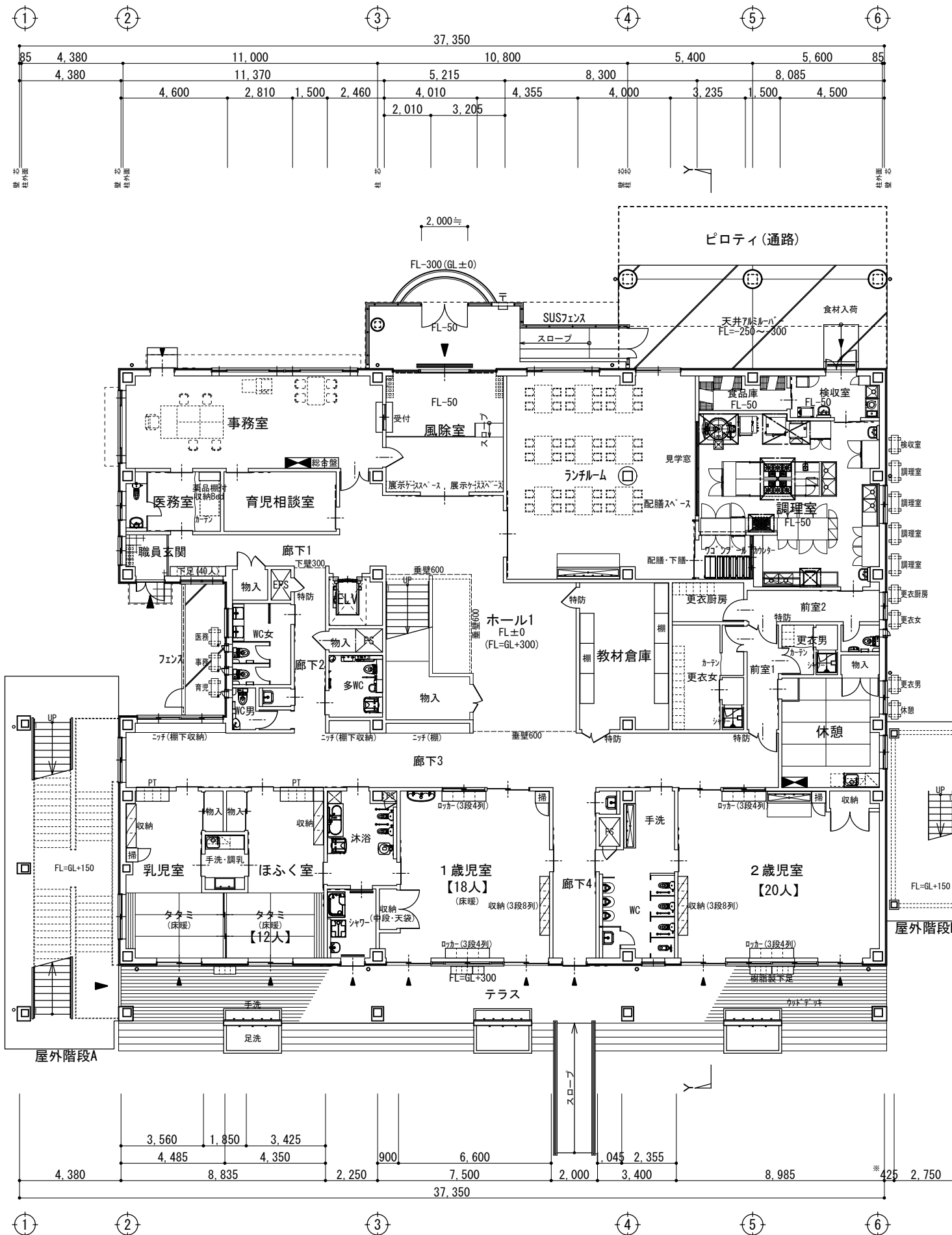
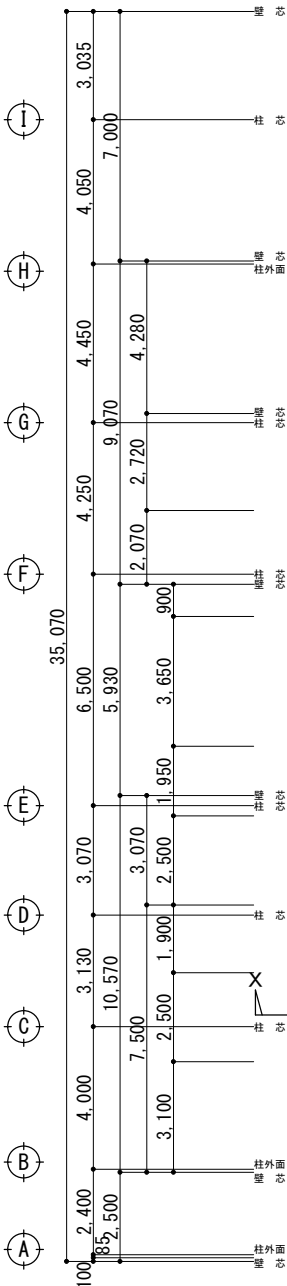
育児相談室		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	13.60㎡	
S2(壁内)	—	

医務室		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	11.89㎡	
S2(壁内)	—	

教材倉庫		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	26.00㎡	
S2(壁内)	—	

廊下1(職員玄関)		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	15.99㎡	
S2(壁内)	—	

廊下2		
天井高	2.400	
S1(壁芯)	10.61㎡	
S2(壁内)	—	



風除室		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	27.64㎡	
S2(壁内)	—	

ランチルーム		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	75.28㎡	
S2(壁内)	—	

ホール1		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	58.32㎡	
S2(壁内)	—	

検収室		
天井高	2.400	
S1(壁芯)	8.62㎡	
S2(壁内)	—	

廊下3		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	73.80㎡	
S2(壁内)	—	

食品庫		
天井高	2.400	
S1(壁芯)	7.05㎡	
S2(壁内)	—	

廊下4		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	15.00㎡	
S2(壁内)	—	

調理室		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	59.63㎡	
S2(壁内)	—	

更衣厨房		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	5.92㎡	
S2(壁内)	—	

前室2		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	9.00㎡	
S2(壁内)	—	

厨房トイレ		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	—	
S2(壁内)	—	

更衣室(女)		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	15.10㎡	
S2(壁内)	—	

更衣室(男)		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	5.85㎡	
S2(壁内)	—	

前室1		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	7.00㎡	
S2(壁内)	—	

休憩室		
天井高	2.500	
S1(壁芯)	23.88㎡	
S2(壁内)	—	

保育室(乳児・ほふく)		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	66.26㎡	
S2(壁内)	48.79㎡	

保育室(1歳児)		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	52.44㎡	
S2(壁内)	43.81㎡	

保育室(2歳児)		
天井高	2.700	
S1(壁芯)	67.39㎡	
S2(壁内)	56.44㎡	

保育士22人、事務職4人、調理員6人 計32人

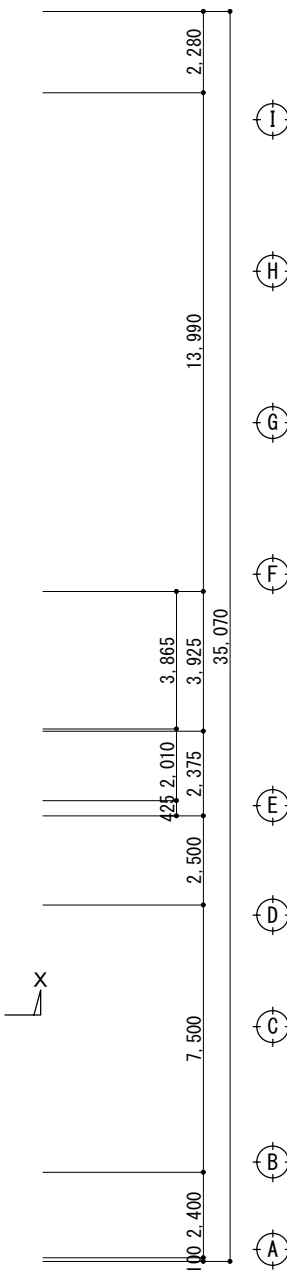
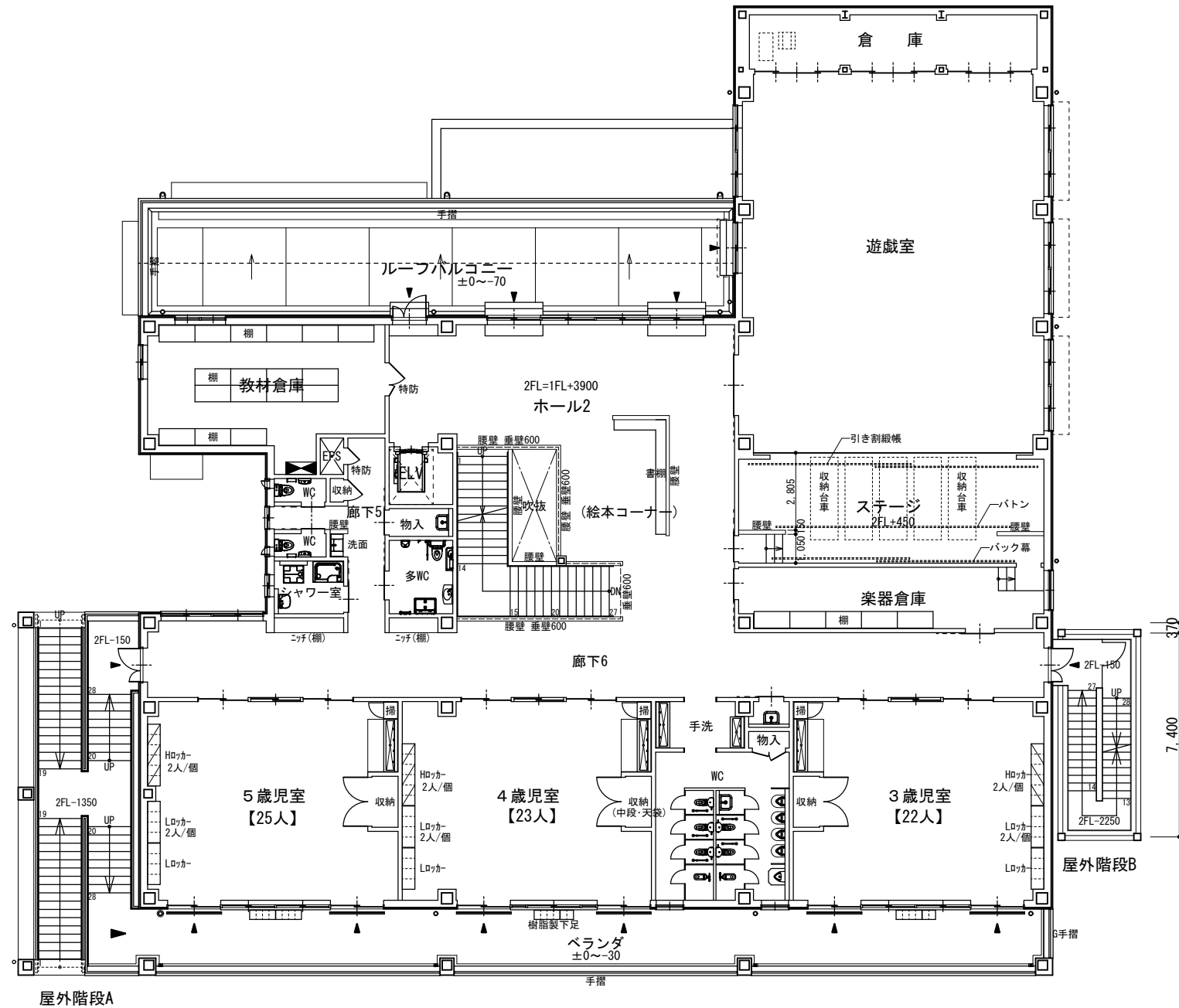
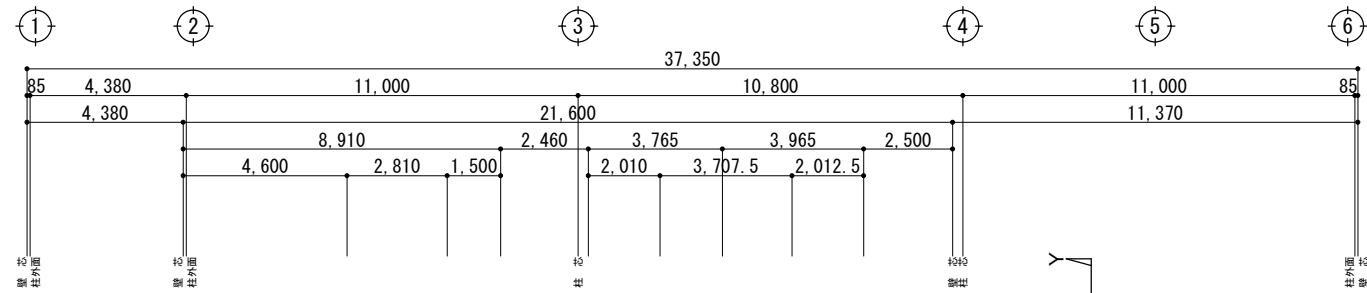
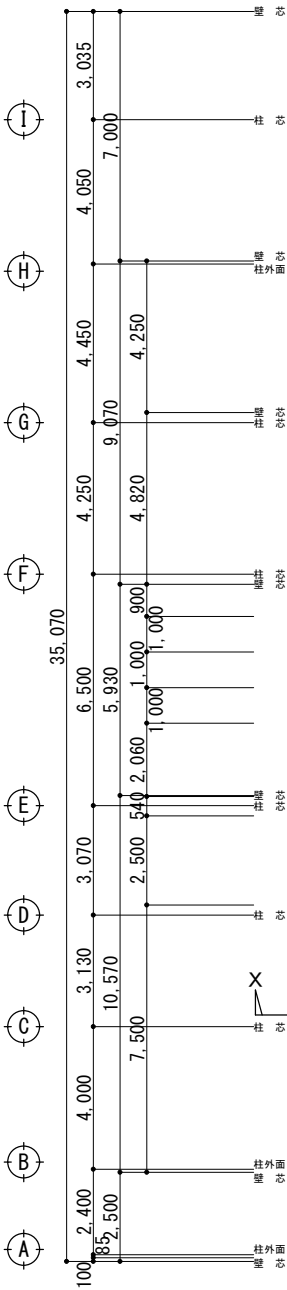
1 階 平 面 図

2階平面図 S=1:150

■面積表		
	床面積	防火区画検討用 (最大区画面積)
1 階	828.95	736.44
2 階	810.20	752.39
延床面積	1,639.15	1,488.83
主要構造部	耐火構造	

教材倉庫	
天井高	2.500
S1(壁芯)	43.15㎡
S2(壁内)	—

廊下5	
天井高	2.500
S1(壁芯)	14.05㎡
S2(壁内)	—



遊戯室倉庫	
天井高	2.700
S1(壁芯)	25.92㎡
S2(壁内)	—

遊戯室	
天井高	4.200
S1(壁芯)	159.06㎡
S2(壁内)	191.82㎡
壁内面積はステージ共	

ホール2(絵本コーナー)	
天井高	2.700
S1(壁芯)	95.70㎡
S2(壁内)	—

ステージ	
天井高	3.750(4.200)
S1(壁芯)	44.62㎡
S2(壁内)	—

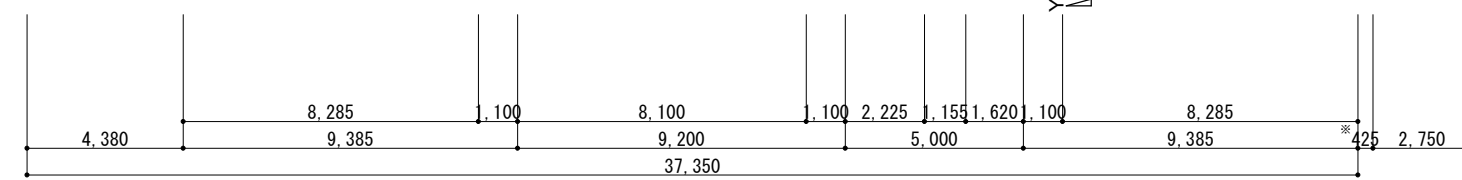
廊下6	
天井高	2.700
S1(壁芯)	92.24㎡
S2(壁内)	—

楽器倉庫	
天井高	3.000
S1(壁芯)	27.00㎡
S2(壁内)	—

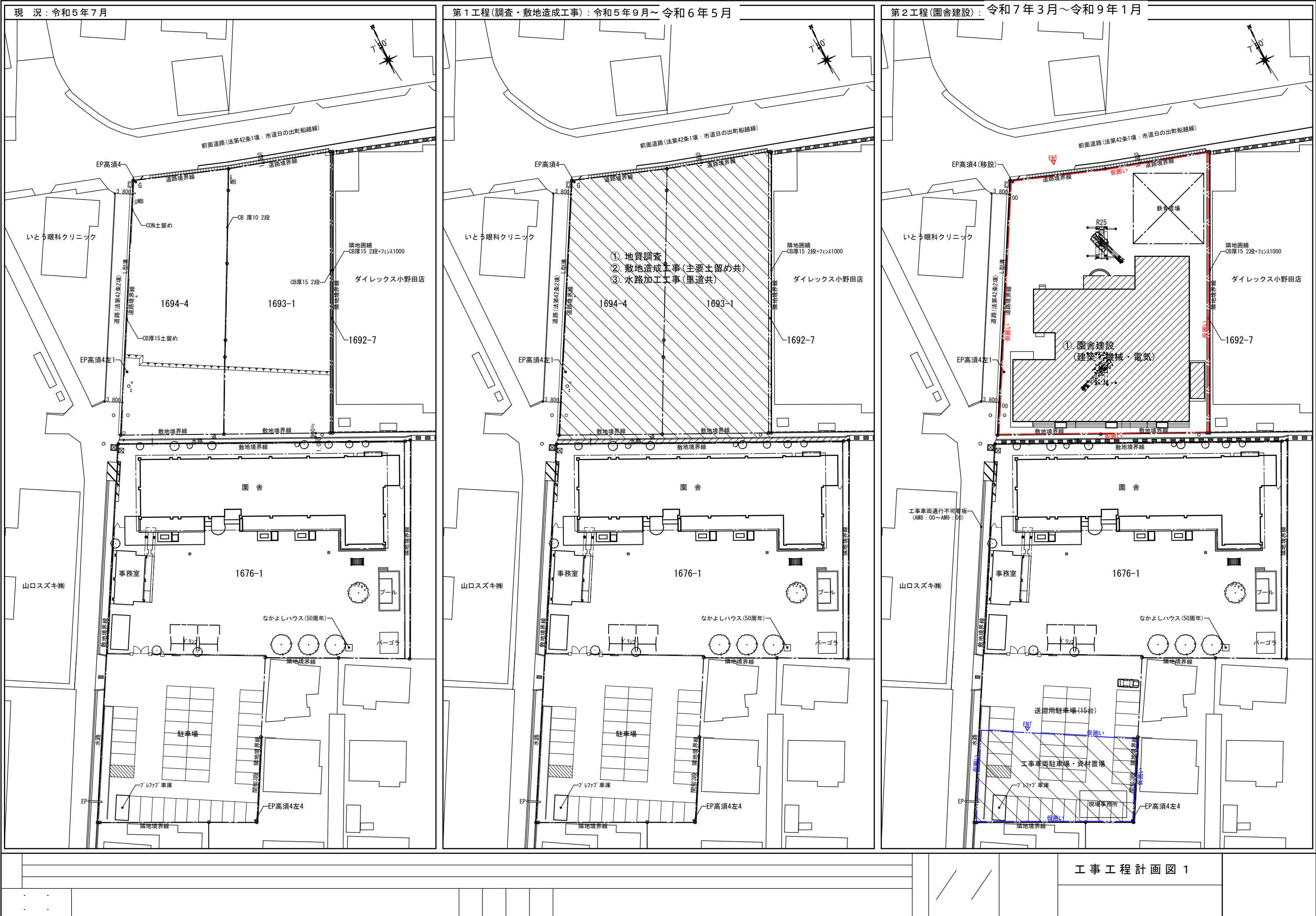
保育室(5歳児)	
天井高	2.700
S1(壁芯)	70.39㎡
S2(壁内)	58.91㎡

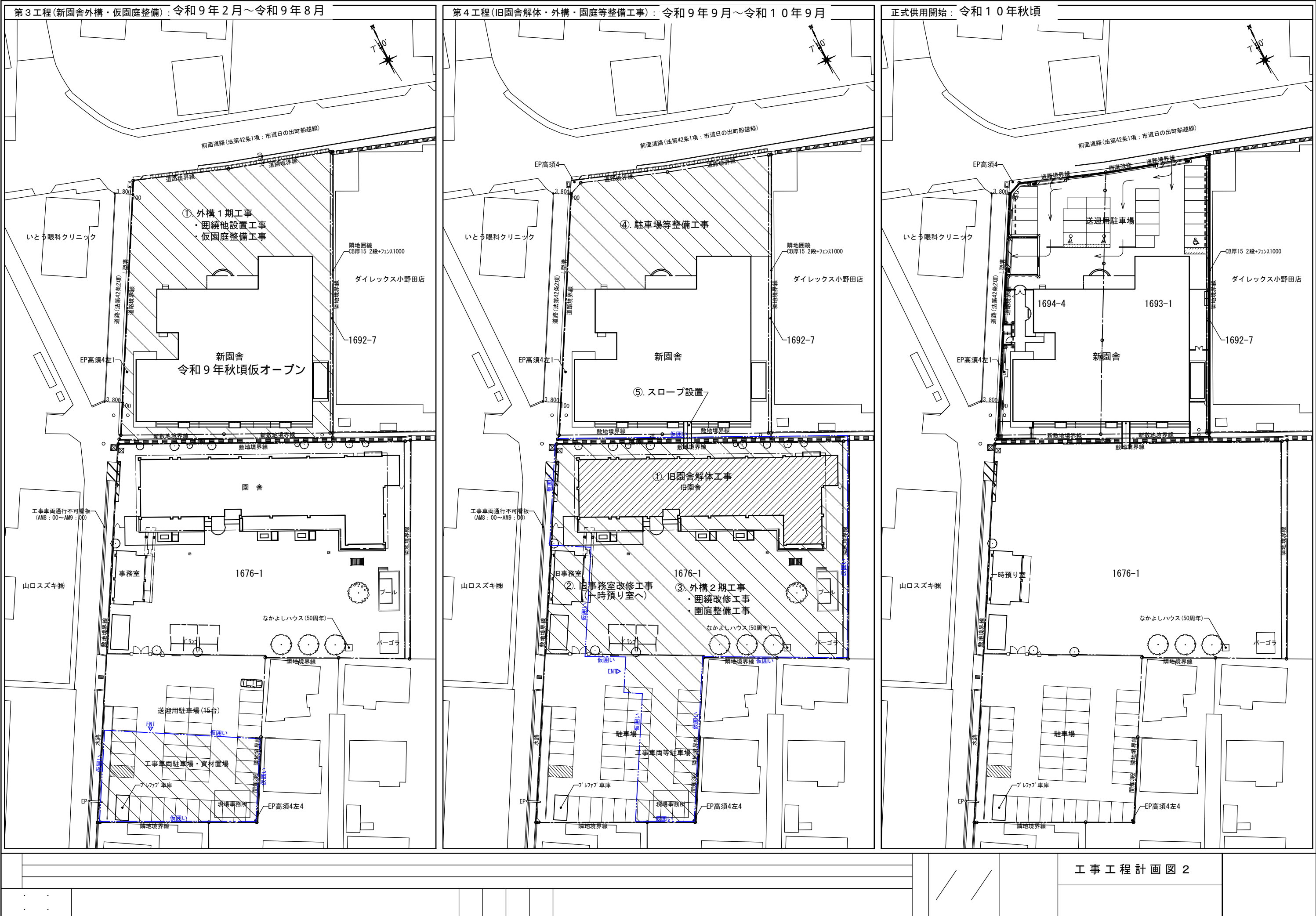
保育室(4歳児)	
天井高	2.700
S1(壁芯)	69.00㎡
S2(壁内)	58.51㎡

保育室(3歳児)	
天井高	2.700
S1(壁芯)	70.39㎡
S2(壁内)	59.07㎡



2 階 平 面 図





R5年度 事務事業評価シート

14

課・局・室・所(係)

健康増進課

健康増進係

事務事業番号

201050120

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	1	子育て・福祉・医療・健康		1	子育て支援の充実		5	母子保健サービスの充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	母子保健事業	20	葉酸サプリメント配布事業		2ー(1)		知守 食事	政策的
事業概要	葉酸は適量を摂取することで、二分脊椎などの神経管閉鎖障がい等の発症リスクを下げたり、妊娠期の貧血や妊娠高血圧症候群の予防に効果があると言われていて、厚生労働省においても特に妊娠計画中及び妊娠初期は通常の食事から摂取する量に加え、サプリメント等を活用することを推奨している。本市においてもこれまでも妊婦等への情報提供は行ってきたが、それに加えて対象者へサプリメントの配布を行い、安心安全な妊娠・出産・育児へとつなぐ一助とする。また、配布時には保健師または管理栄養士による面談を行い、説明した上で配布することにより食生活等を見直すきっかけとする。					対象	①妊娠届出書を提出し母子健康手帳の交付を受けた妊婦及び転入妊婦②婚姻届を提出され、今後、妊娠を希望されている方		
						手段	葉酸サプリメントを配布する。 ①1本(75日分) ②2本(150日分)		
						意図	葉酸不足による胎児の障がいのリスクを下げる とともに妊娠期等の食生活を見直すきっかけとする		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					消耗品費	239千円	消耗品費	232千円
合 計						239千円		232千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	79千円	1/2	89千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					160千円		143千円
	合 計					239千円		232千円
人工数 人件費					0.22人	1,282千円		
総経費						1,521千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	葉酸サプリメント配布数(妊娠届後)	活動			410人 290人 70.70%	320人
2	葉酸サプリメント配布数(婚姻届後)	活動			60人 9人 15.00%	40人
3						

成果	妊娠届出書を提出した妊婦には、葉酸サプリメントの効果を説明した上で、希望者には配布できている。婚姻届出書を取りに来た方へチラシを配布、SNSでの周知、成人式の際にチラシを配布するなど、様々な機会を通して周知を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	様々な機会を通して周知は行ったが、婚姻届後のサプリメント配布を希望する方は少なかった。職域や医療機関等とも連携しながら、より効果的な周知方法を検討していく。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項	国庫支出金は対象経費の1/2 歳入額については支出決算額に合わせた精算見込み額を記載					

R5年度 事務事業評価シート				15	課・局・室・所(係)	環境課	生活衛生係	事務事業番号	213040304			
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災				13	自然環境の保全・循環型社会の形成			4	環境美化・生活衛生の向上	
	実施計画名				事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	3	犬・猫保護等関連事業				4	飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業					
事業概要	環境省発行の「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」において、飼い主のいない猫に係る不妊・去勢手術の推進が推奨されている。年々増加する飼い主のいない猫による生活環境トラブルの減少を図るため、及び猫の殺処分の減少のため、市民が率先して行う飼い主のいない猫に係る不妊・去勢手術費用の補助を行う。(雄5,000円、雌10,000円) また、不妊・去勢手術を行う際の捕獲機を購入						対象	地域猫活動団体として登録されている団体				
							手段	不妊・去勢手術費の補助				
							意図	生活環境トラブルの減少を図るため、及び猫の殺処分の減少のため				

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					不妊・去勢手術費補助金	1,200千円	不妊・去勢手術費補助金	1,200千円
					備品購入費	71千円		
							【6月補正額】	1,000千円
合計						1,271千円		2,200千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	1,271千円	ふるさと支援基金	2,200千円
	一般財源							
	合計					1,271千円		2,200千円
人工数 人件費					0.25人	1,456千円		
総経費						2,727千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	不妊・去勢手術費用の補助 (V字カット費を含む)	活動				雄60頭、雌90頭 雄73頭、雌84頭 104.67%	雄110頭、雌165頭
2	捕獲機購入(5台分)	活動				捕獲機5台 捕獲機5台 100.00%	
3							

成果	登録団体から、猫が減り、糞尿被害も激減、生活環境の改善がみられ、地域住民からは喜ばれた等の報告があり、飼い主のいない猫による生活環境トラブルの減少につながったと考えられる。また、不妊・去勢手術を行う際の捕獲機を5台購入し、登録団体に貸出を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度は、4月に補助金の申請受付を開始し、2週間で申請が予算額に到達した。継続して、集中的かつ効果的に生活環境トラブルの減少を図るため、補助金を100万円増額した。令和7年度は事業開始3年目であり、今年度と同程度の申請が提出される可能性があるが、登録団体からヒアリングを行い、適正な予算額を見込む。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項						

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助事業

1 制度概要

(1) 趣旨

飼い主のいない猫の繁殖防止及びそれらの猫による生活環境被害の軽減等を目的として、T N R活動を実施するものに補助金を交付

(2) 交付対象者

登録を受けた地域猫活動団体

(3) 交付対象事業

市内に生息する飼い主のいない猫に対するT N R活動

T N R活動…①猫を捕獲する(Trap) ②不妊・去勢手術を施す(Neuter)

③猫が生活していたもとの地域へ戻す(Return)の英語の頭文字をとったもので、野良猫の数を今まで以上に増やさず一代限りの命を全うさせることを目的とする活動

(4) 補助金額 不妊去勢手術に係る費用(V字カットに係る費用を含む。)

雄：去勢手術 1頭につき 5,000円

雌：不妊手術 1頭につき 10,000円

2 令和5年度実績

交付決定件数 12件

雄73頭、雌84頭 計157頭

交付決定額 1,199,696円(当初予算額 1,200,000円)

令和5年度 不妊・去勢手術費補助金 実績状況

団体名	実施地域	実績報告提出日	実績頭数		確定金額
			オス	メス	
スマイルcats	第二日の出	8月30日	6	12	147,425
	中村	8月30日	11	13	185,000
	北中川一丁目	8月30日	3	6	75,000
	刈屋西条	9月8日	12	7	130,000
	北竜王町	9月21日	3	10	112,271
	北中川町	10月13日	3	4	55,000
	南真土郷	10月13日	4	3	50,000
	厚陽団地	10月25日	11	3	85,000
	大須恵	1月19日	1	7	75,000
平和町	平和町	9月13日	5	5	75,000
はっぴいスマイル	高畑（江汐公園）	11月6日	6	3	60,000
ハピネコ	セメント町第二	9月25日	8	11	150,000
シルバーキャッツ	スマイルcatsに依頼				
			73	84	1,199,696
157					支払金額
					1,200,000 予算額
					304 予算残

R5年度 事務事業評価シート				16	課・局・室・所(係)	下水道課	管理係	事務事業番号	218050101	
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤			18	水道の安定供給と下水道の充実		5	合併浄化槽の整備	
	実施計画名		事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	浄化槽整備推進事業		1	浄化槽整備推進事業					
事業概要	公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水整備区域外にある住宅に浄化槽を設置する人に対して補助金を交付する。 令和8年度までに汚水処理の概成を求められている中、令和2、3年度に汚水処理施設整備構想及び公共下水道全体計画の見直しを行い、公共下水道で整備する区域を縮小した。計画区域から除外された地域については今後、合併処理浄化槽の設置により汚水処理整備を進めていくこととなるため、従来の補助金に上乗せを行うことで汚水処理人口普及率の向上を図る。					対象	浄化槽設置者			
						手段	浄化槽設置者に対する補助金の交付			
						意図	浄化槽の維持管理による快適な生活環境の確保と水質の保全			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	浄化槽設置整備事業補助金	19,492千円		浄化槽設置整備事業補助金	24,380千円		浄化槽設置整備事業補助金	69,682千円		浄化槽設置整備事業補助金 71,633千円
合 計		19,492千円			24,380千円			69,682千円		71,633千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/3		1,067千円	1/3	8,531千円	1/3	20,029千円	1/3	20,030千円
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源			18,425千円		15,849千円		49,653千円		51,603千円
	合 計			19,492千円		24,380千円		69,682千円		71,633千円
人工数 人件費	0.50人	2,721千円		0.42人	2,760千円		0.50人	2,097千円		
総経費		22,213千円			27,140千円			71,779千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	浄化槽設置整備事業補助金の交付件数	活動		85基	60基	100基	100基
				50基	45基	92基	
				58.82%	75.00%	92.00%	
2	汚水処理人口普及率	成果		-	83.7%	84.7%	85.7%
				82.8%	84.4%	85.7%	
				-	100.84%	101.18%	
3							

成果	公共下水道全体計画の縮小に伴う上乗せ補助の実施により、昨年度から補助金の交付件数を大きく増加させ、汚水処理人口普及率の目標を達成している。また、転換工事への補助により、汲取りや単独浄化槽からの切替えも進み、水質保全に貢献している。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き事業を実施して、公共下水道の整備と合わせて、汚水処理人口普及率を向上させる。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

令和5年度 浄化槽設置整備推進事業

単位：円

項目	令和5年度決算		備 考
【通常補助】	基数	金 額	国庫補助1/3
5人槽	22	7,304,000	
7人槽	17	7,038,000	
10人槽	1	548,000	
【上乘せ補助】	件数	金 額	国庫補助1/3 + 市費上乘せ
5人槽（上乘せ）	34	18,530,000	
7人槽（上乘せ）	17	11,543,000	
10人槽（上乘せ）	1	899,000	
【転換関連補助】	件数	金 額	国庫補助1/3
単独処理浄化槽処分	9	1,080,000	
単独処理浄化槽転換に係る配管設置	10	3,000,000	
汲取便槽処分	50	4,440,000	
汲取便槽転換に係る配管設置	51	15,300,000	
【合併処理浄化槽更新補助】	件数	金 額	市費単独
合併浄化槽更新	0	0	
小計	令和5年度 決算額	69,682,000	

【補助基数合計】

項目	基数
5人槽	56
7人槽	34
10人槽	2
単独転換	10
汲取転換	51

【設置件数推移】

年度	1	2	3	4	5
基 数	61	45	50	45	92
単独転換	4	4	5	1	10
汲取転換	25	19	17	21	51

※R5～上乘せ補助開始

※R2～単独、R4～汲取・・転換に係る処分費＋配管費補助開始

（R5～単独転換の処分費が9万円 → 12万円に増額）

R5年度 事務事業評価シート				17	課・局・室・所(係)	農林水産課	農林係	事務事業番号	224020504	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	4	産業・観光			24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備	
	実施計画名		事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	有害鳥獣対策事業		4	有害鳥獣対策協議会支援事業					
事業概要	鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資するため、山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部又は全部について、予算の範囲内で補助する。					対象	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会			
						手段	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部又は全部について、予算の範囲内で補助する。			
						意図	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営の円滑化を図り、鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資する。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	経常	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	有害鳥獣対策協議会補助金	27千円		有害鳥獣対策協議会補助金	27千円		有害鳥獣対策協議会補助金	385千円		有害鳥獣対策協議会補助金 145千円
合 計		27千円			27千円			385千円		145千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	27千円			27千円			385千円		145千円
合 計		27千円			27千円			385千円		145千円
人工数 人件費	0.10人	578千円		0.45人	2,580千円		0.22人	1,282千円		
総経費		605千円			2,607千円			1,667千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	協議会開催回数	活動		1件	1件	1件	1件
				3件	1件	1件	
				300.00%	100.00%	100.00%	
2	ICTわな	活動			1件	2件	2件
					1件	2件	
					100.00%	100.00%	
3							

成果	ICTわなを小野田地区・山陽地区に1か所ずつ親機を設置し、効率的な捕獲業務が行えるようになった。 また、実施隊活動における追い払い用備品を整備し、実施隊のうち6名がわな免許を取得したことで捕獲体制の強化を図った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	捕獲隊や実施隊をはじめ、関係機関と引き続き連携を図りながら、捕獲体制の強化を図りたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

有害鳥獣対策協議会支援事業

費目	内容	金額
消耗品	電動エアガン バッテリー	20,240
消耗品	電動エアガン 充電器	8,184
消耗品	電動エアガン ケース	20,152
消耗品	腕章	128,480
消耗品	追払花火	45,880
消耗品	鉄くい	10,560
通信費	ICTわな通信費（親機2基分）	28,380
備品	電動エアガン	77,440
補助金	運営補助	27,000
合 計		366,316

R5年度 事務事業評価シート

18

課・局・室・所(係)

土木課

道路整備係

事務事業番号

219010104

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		19	道路・交通網及び港湾施設の充実		1	道路網の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	道路新設改良事業		4	市道くし山線道路改良事業				
事業概要	市道くし山線は、JR小野田駅の北側を東西に走り県道小野田山陽線と県道小野田美東線を結ぶ延長約870mの市道である。平成25年時点では、県道小野田山陽線の4車線化計画があったため、交差点改良に影響がない区間の整備は完了している。 この度、山口県が行っている県道小野田山陽線の4車線化事業による交差点改良に併せて、市道くし山線の未整備区間の拡幅および、歩道の設置を行うことで利用者の交通安全環境の向上を図る。					対象	市民		
						手段	用地買収、拡幅工事		
						意図	市民の安全と利便性向上		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					調査設計委託料	1,400千円	工事請負費	14,000千円
							補償費	4,000千円
							用地購入費	2,000千円
合計						1,400千円		20,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	700千円	1/2	10,000千円
	県支出金							
	地方債				90%	600千円	90%	9,000千円
	その他							
	一般財源					100千円		1,000千円
	合計					1,400千円		20,000千円
人工数 人件費					0.27人	1,573千円		
総経費						2,973千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	事業進捗率(事業費ベース)	活動			7%	27%
					2%	
					28.57%	
2						
3						

成果	県道小野田山陽線の拡幅事業に併せて実施する事業である。 R5年度は設計業務委託を発注していたが、受注者が令和5年6月30日以降の梅雨前線豪雨により発生した県内の災害対応業務に従事しており、それらを最優先に取組むために当該業務に係る業務期間に繰越が生じている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き設計業務を進めるとともに、山口県と連携し事業に必要な調査業務等を実施していく必要がある。					
目標達成度	D	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	R5→R6 繰越明許 4,596,100円(調査設計委託料)					

市道くし山線道路改良事業

事業区間 L=100m

くし山西
交差点

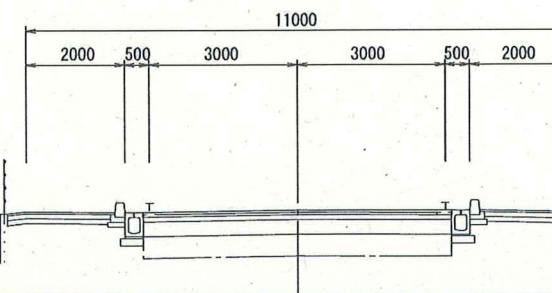
くし山1丁目

主要地方道小野田山陽線

栴山跨線橋

駐車場

標準断面図



○事業進捗

詳細設計業務委託（令和5年繰越予算）実施中

地質調査業務委託（令和6年当初予算）実施中

大字東高瀬

JR小野田駅

R5年度 事務事業評価シート				19	課・局・室・所(係)	土木課	河川港湾係	事務事業番号	209030902
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災		9	防災体制の充実		3	市域の保全	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	9	小規模河川保全事業	2	河川整備事業					
事業概要	境川は、上流の埴生山溜池にその源を発し、山間を南西に流下し瀬戸内海に注ぐ流路約1.0kmの普通河川である。流域の土地利用は、大部分が山林で、下流部の平地には農地が広がり、国道190号沿いに民家が集中している。また、上流域の開発、山陽自動車道、国道など土地利用状況が変化している。 当該河川は、未整備区間が複数点在しており、過去にも災害復旧を実施するなど被災履歴を有する。なお、台風や集中豪雨などによる河川堤防の越水も報告されており、河川整備が望まれている。 このような状況から、未整備区間の護岸を整備し治水安全度の向上を図る。					対象	普通河川境川		
						手段	護岸整備		
						意図	環境保全、防災		

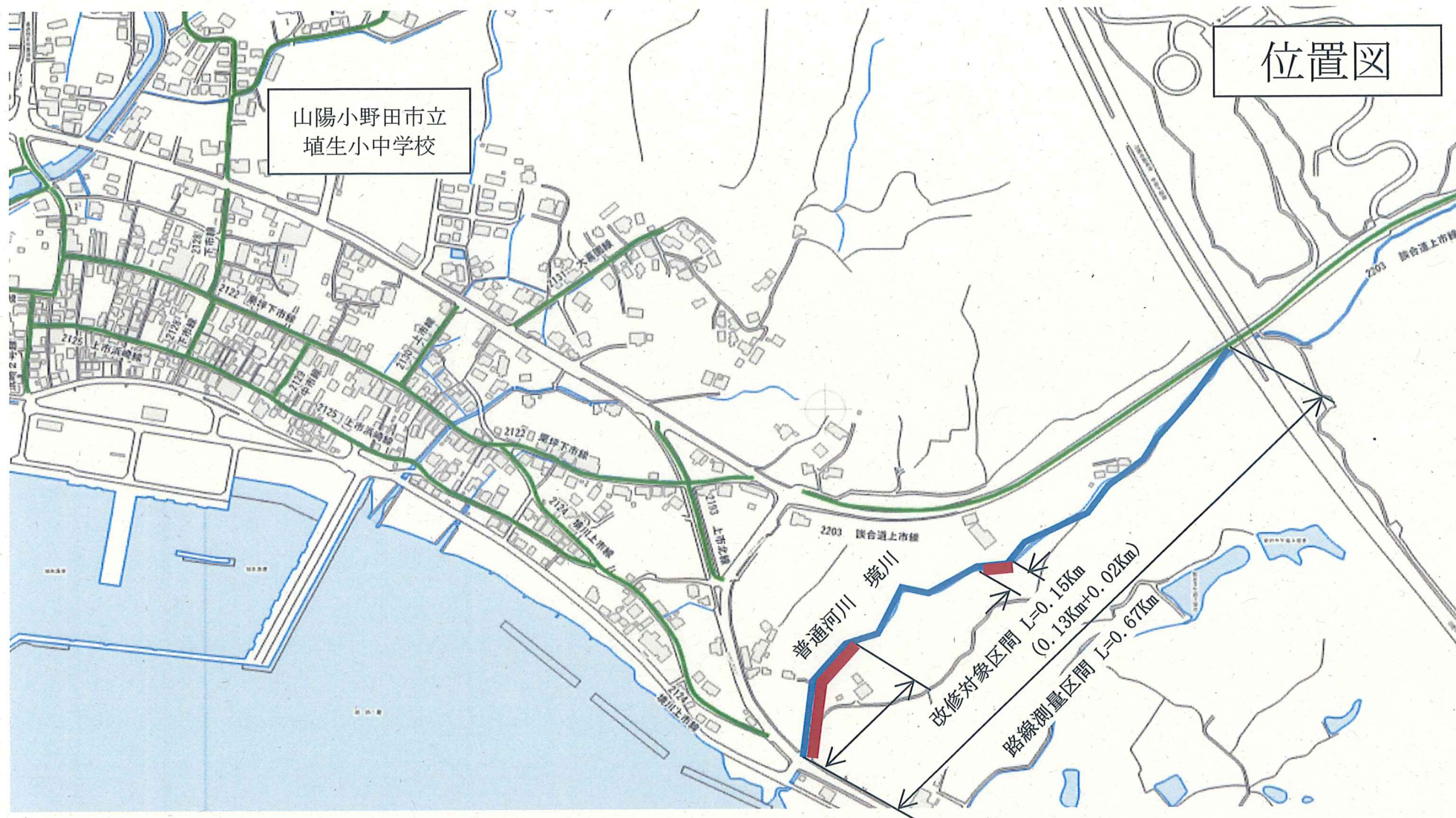
事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳							調査設計委託料	8,000千円
							用地購入費	2,000千円
合 計								10,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債						100%	10,000千円
	その他							
	一般財源							
	合 計							10,000千円
人工数 人件費					0.11人	641千円		
総経費						641千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	設計・工事	活動				基本設計 実施中 50.00%	詳細設計
2							
3							

成果	基本設計については業務委託契約を締結したが、委託先業者が山口県内で発生した7月豪雨に伴う災害復旧業務を優先して対応する事態となったため、業務完了期日を翌年度に延長した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和7年度には工事に着工できるよう令和6年度において基本設計並びに詳細設計を完了させる。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	R5→R6 繰越明許 12,260千円(調査設計委託料)					

河川整備事業



R5年度 事務事業評価シート

20

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

219030201

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		19	道路・交通網及び港湾施設の充実		3	駐車場・駐輪場の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	駐輪場整備事業		1	厚狭駅前駐輪場整備事業				
事業概要	JR厚狭駅周辺の駐輪スペース不足を解消するため、市有地を活用し、厚狭駅在来線側に駐輪場を整備する。					対象	市内自転車駐輪場		
						手段	駐輪場の整備		
						意図	駅の利便性向上		

事業期間	R5 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					工事請負費(厚狹駅在来線)	3,675千円		
合計						3,675千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					3,675千円		
	合計					3,675千円		
人工数 人件費					0.15人	874千円		
総経費						4,549千円		

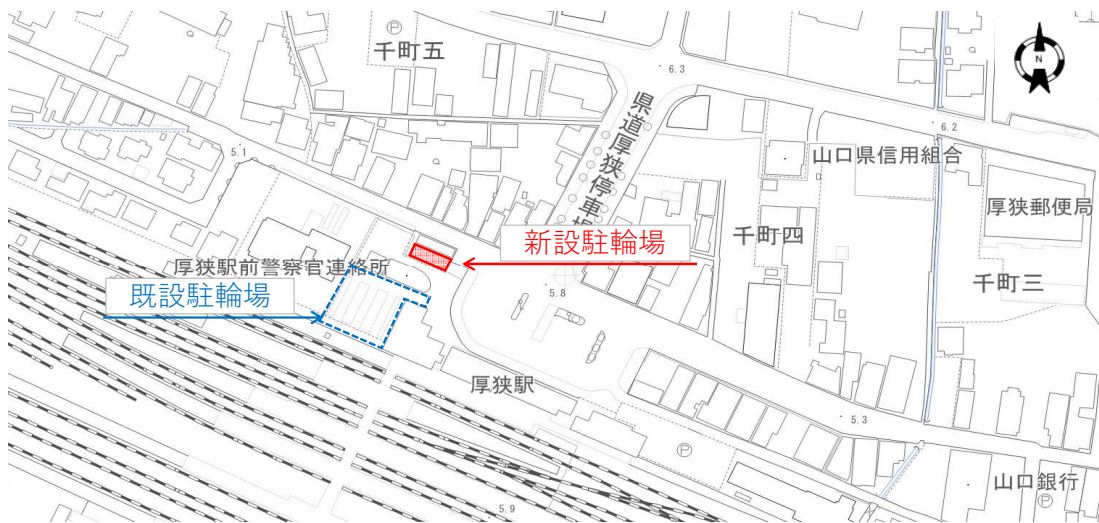
※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	改修箇所	活動			1	
					1	
					100.00%	
2						
3						

成果	令和6年1月下旬から新設駐輪場の供用を開始し、厚狹駅在来線口での駐輪スペース不足を解消することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	
特記事項						

厚狹駅前駐輪場整備事業

位置図



完了後（全景）



完了後（近景）



R5年度 事務事業評価シート

21

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

217010202

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		17	公園・緑地の整備・保全		1	都市公園の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	2	テニスコート改修事業					運動 交流
	都市公園内にあるテニスコート3箇所(江汐公園、浜河内緑地、須恵健康公園)について、不陸、ラインの破損が発生しているため計画的に改修を行う。 R5 補正予算(第5回) スポーツ振興くじ助成金の内示を受け財源内訳を補正。					対象	テニスコート		
						手段	テニスコートの改修を行う。		
						意図	テニスコート利用者のため、適切な維持管理を行う。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳				(須恵健康公園)			(浜河内緑地)			
				工事請負費	19,569千円		工事請負費	27,919千円		
				4面改修			4面改修			
合計					19,569千円			27,919千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			75%	7,100千円	75%	12,900千円			
	その他			スポーツ振興くじ助成金	10,045千円	スポーツ振興くじ助成金	10,604千円			
	一般財源				2,424千円		4,415千円			
	合計				19,569千円		27,919千円			
人工数 人件費				0.10人	573千円	0.35人	2,219千円			
総経費					20,142千円		30,138千円			

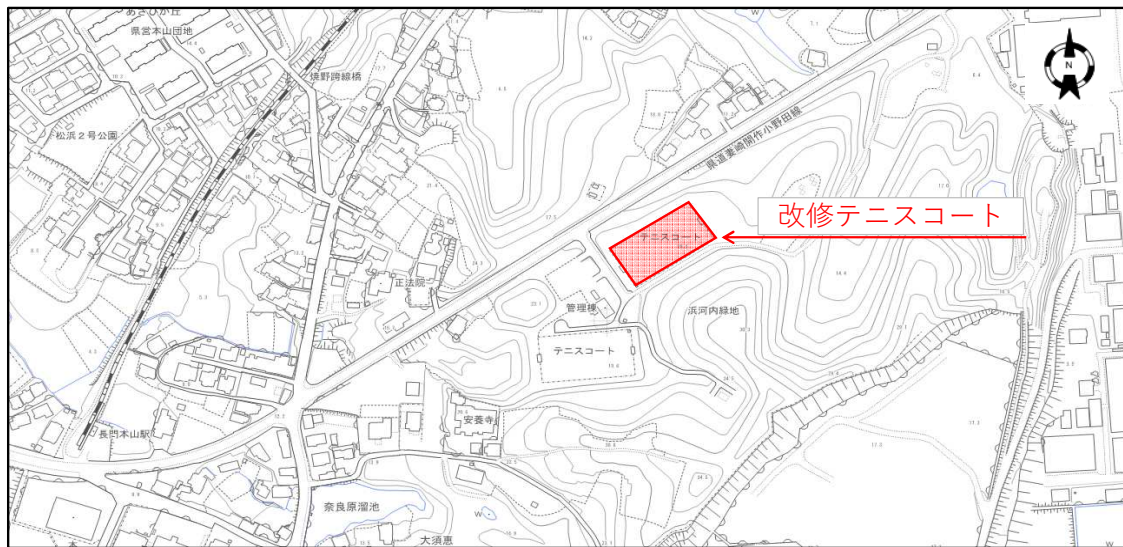
※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	改修コート数	活動			4	4	
					4	4	
					100.00%	100.00%	
2							
3							

成果	浜河内緑地のテニスコート8面中、4面について改修工事を完了した。コートの不陸、ラインなど設備更新したことによって、利便性と快適性を向上することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金を活用しながら事業を行いたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	スポーツ振興くじ助成(地域スポーツ施設整備助成事業):スポーツ施設等整備事業:助成率(2/3)					

テニスコート改修事業

位置図



完了後（全景）



完了後（近景）



R5年度 事務事業評価シート				22	課・局・室・所(係)	建築住宅課	住宅管理係	事務事業番号	216020305
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	市営住宅長寿命化事業	5	市営住宅建替整備事業					政策的
事業概要	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数超過により安全性や設備水準が低い市営住宅の建替事業を計画的に実施し、市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。					対象	長寿命化計画において建替え事業の対象である市営住宅		
						手段	建替え事業の実施		
						意図	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。		

事業期間	R5年度	～	R10以降年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					計画策定委託料	17,600千円	設計委託料	25,336千円
					測量調査委託料	19,290千円	工事請負費	23,760千円
					工事請負費	25,850千円	市営住宅入居者移転補償金	5,815千円
					市営住宅入居者移転補償金	241千円	修繕料	4,840千円
					通信運搬費	484千円	手数料	709千円
					手数料	241千円	アスベスト調査委託料	203千円
					会場借上料	20千円		
	合 計					63,726千円		60,663千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	9,926千円	1/2	14,008千円
	県支出金							
	地方債						100%	5,100千円
	その他							
	一般財源					53,800千円		41,555千円
	合 計					63,726千円		60,663千円
人工数	人件費				0.67人	3,903千円		
	総経費					67,629千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	建替え事業の実施	活動				引越先改修工事等完了 100.00%	引越先改修工事等
2							
3							

成果	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	事業の実施に当たり、社会資本整備総合交付金を確保する必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

件名：市営住宅建替整備事業

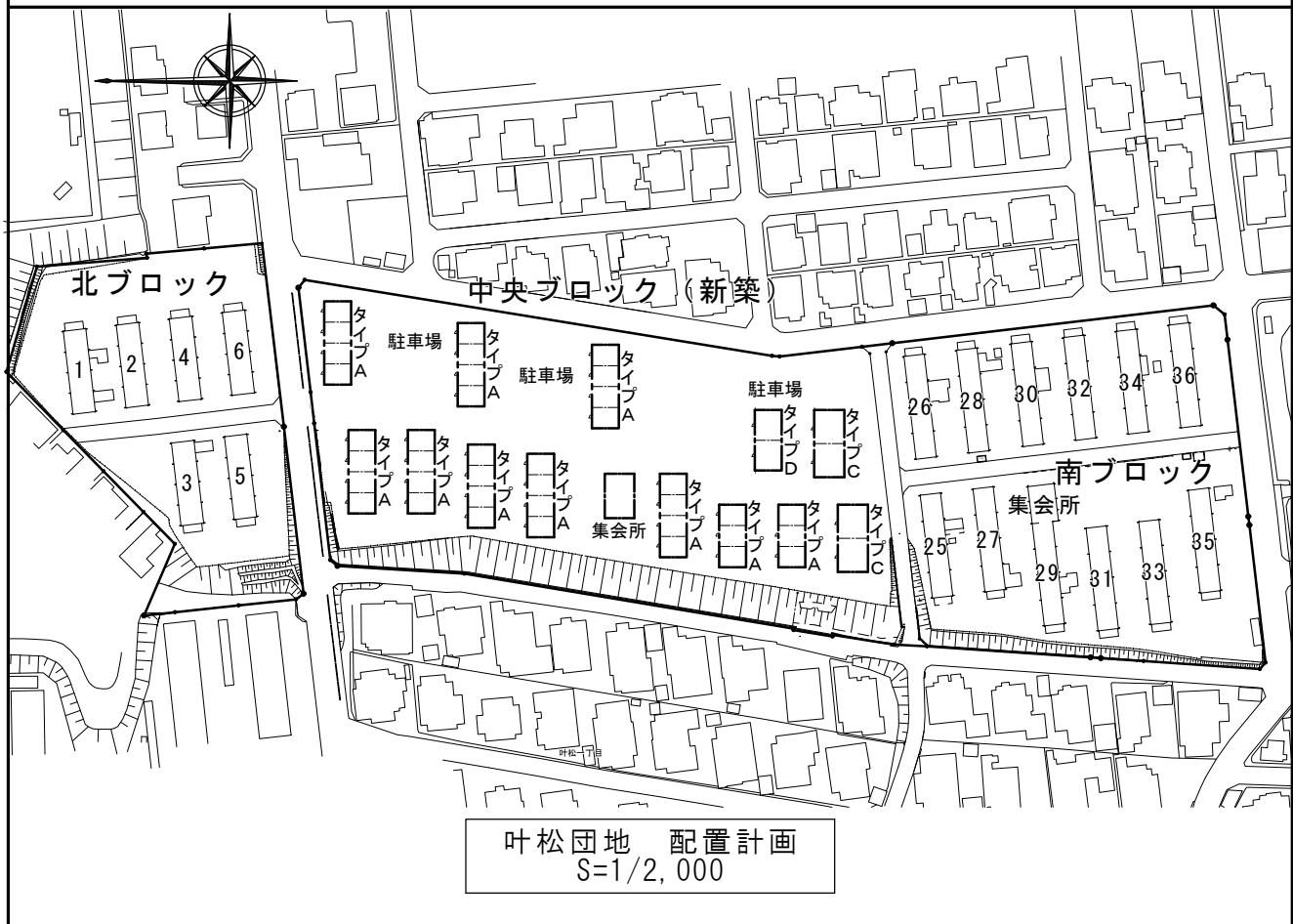
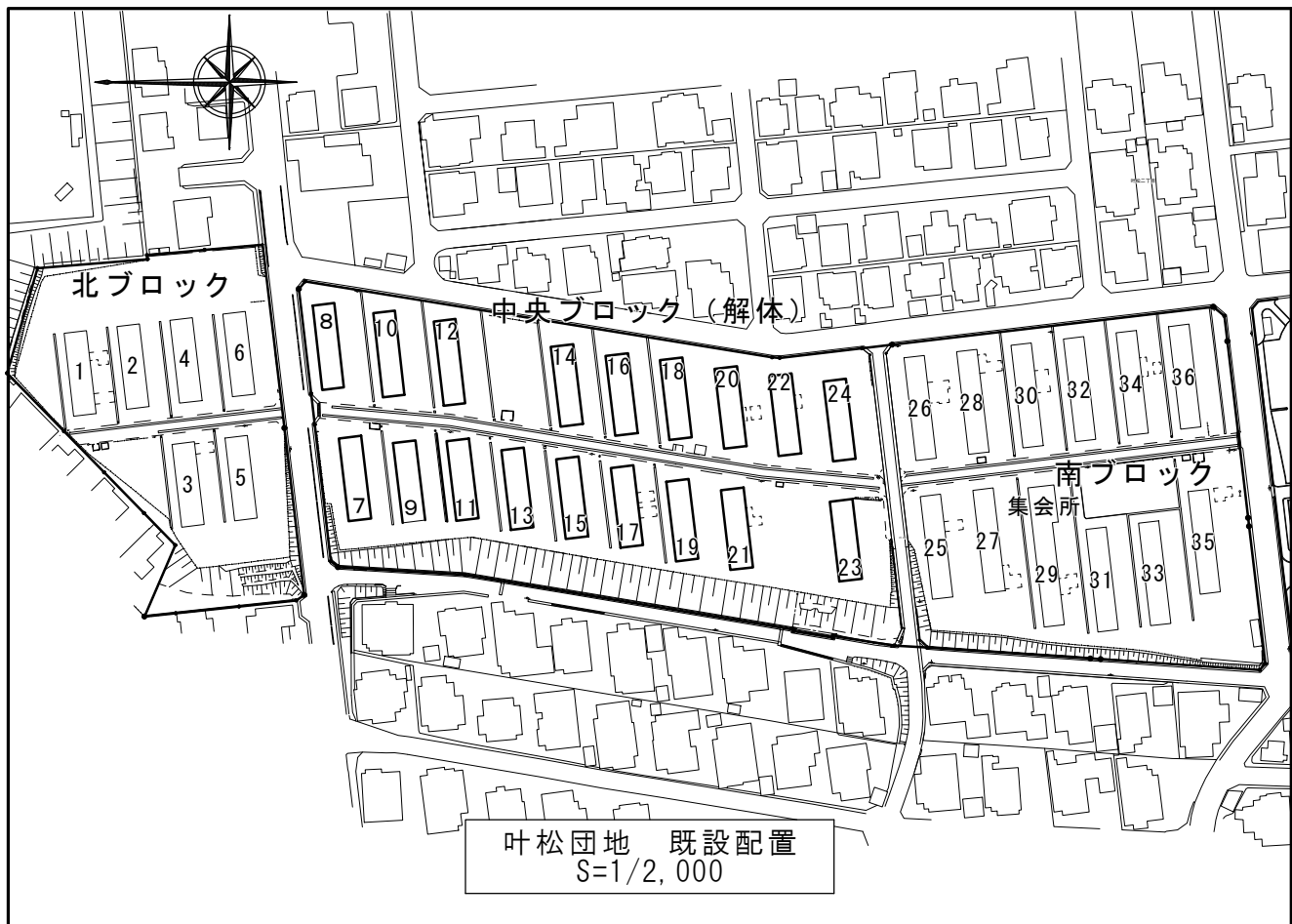
< 既設概要 >

名称	叶松団地	平原団地(未着手部分)	西善寺団地
建設年	S43(1968)～S45(1970)	S41(1966)～S42(1967)	S42(1967)～S45(1970)
構造	補強コンクリートブロック造	補強コンクリートブロック造	補強コンクリートブロック造
延床面積	5,573㎡	1,944㎡	1,032㎡
階数	平屋～2階	平屋～2階	平屋～2階
住戸数	150戸・集会所	48戸・集会所	26戸

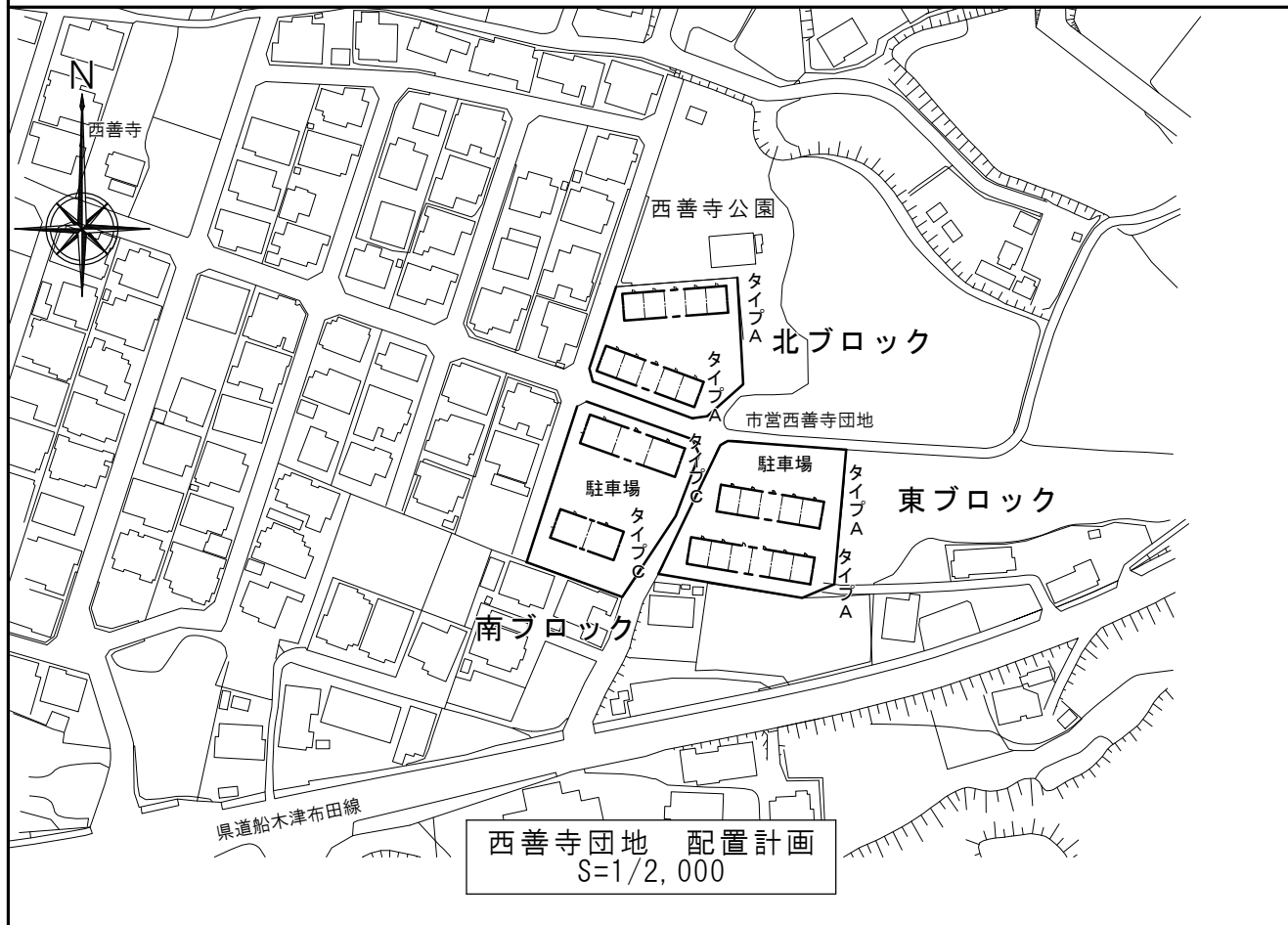
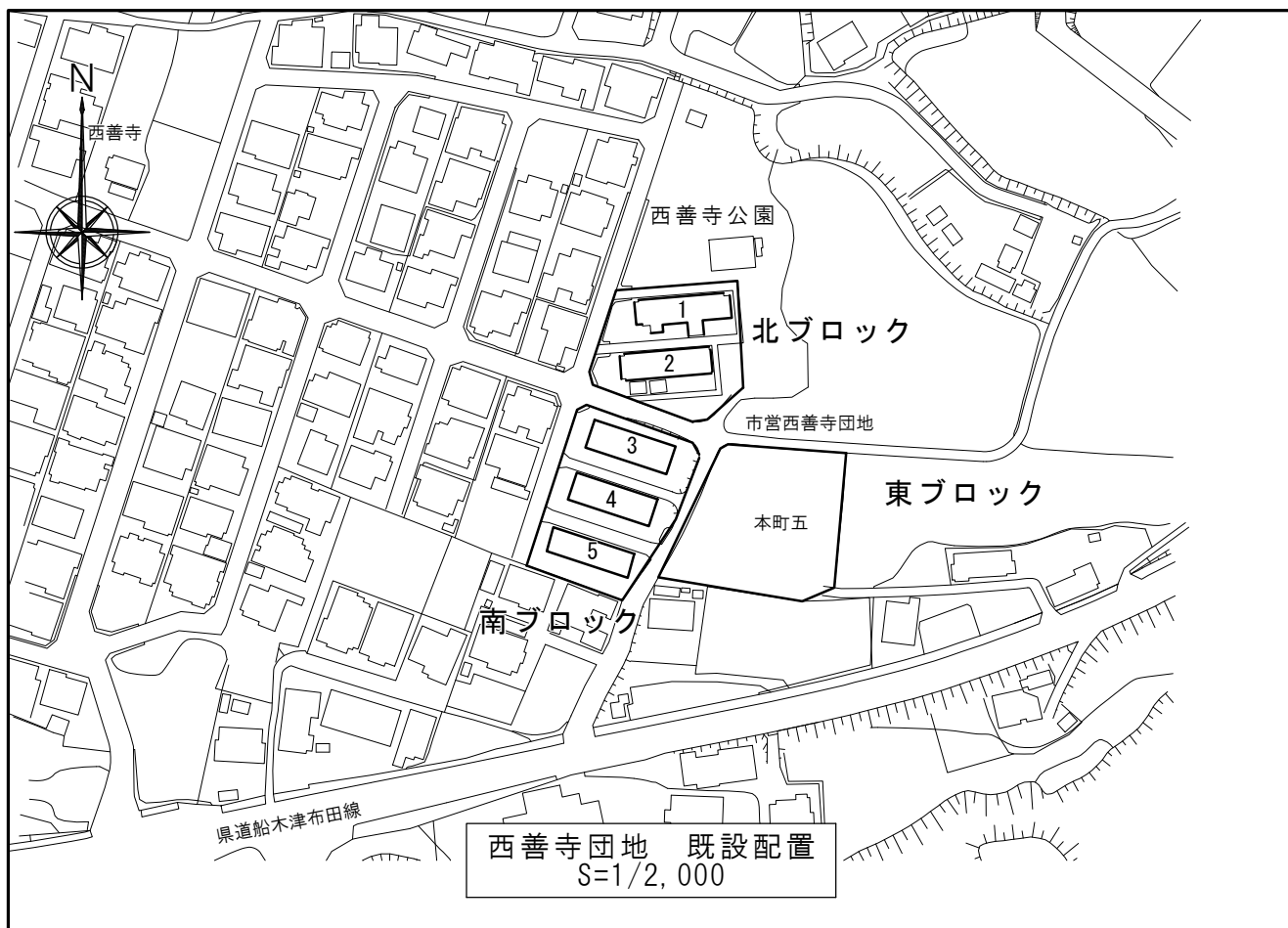
< 計画概要 >

名称	叶松団地	平原団地(未着手部分)	西善寺団地
階数	平屋	平屋	平屋
住戸数	48戸・集会所	40戸・集会所	26戸
うち			
タイプA	42戸	32戸	21戸
タイプC	4戸	8戸	5戸
タイプD	2戸	-戸	-戸

※ タイプA : 1～2人世帯向
 タイプC : ファミリー世帯向
 タイプD : 身障者用







・市営住宅建替整備事業に係る令和5年度決算額

歳出決算額		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
計画策定委託料	17,600,000円	0円	0円	0円	0円	17,600,000円
測量調査委託料	19,289,600円	9,644,000円	0円	0円	0円	9,645,600円
工事請負費	25,850,000円	0円	0円	0円	0円	25,850,000円
市営住宅入居者移転補償金	240,760円	109,000円	0円	0円	0円	131,760円
通信運搬費	484,000円	160,000円	0円	0円	0円	324,000円
手数料	240,900円	13,000円	0円	0円	0円	227,900円
会場借上料	20,000円	0円	0円	0円	0円	20,000円
合計	63,725,260円	9,926,000円	0円	0円	0円	53,799,260円